

CyberLink

PowerDVD 11

ユーザーズガイド



使用許諾契約書

この契約書の日本語訳は、英文の End User License Agreement（'EULA'）の理解を補助する目的で作成されたものです。容易な表現と、英文契約書との整合性に注意を払って作成しておりますが、一部意訳されている部分があり、本契約の詳細につきましては英文契約書を正式文書としてご覧頂きたいいたします。

End User License Agreement（EULA）：使用許諾契約書

当製品（以下「本ソフトウェア」という）の導入およびご利用の前に、以下の使用許諾契約書（以下「本契約書」とする）をお読みください。

本ソフトウェアのご利用にあたっては、お客様が本契約書に記載された条項を事前に承諾いただくものとし、本ソフトウェアをインストール、バックアップ、ダウンロード、アクセス、または使用することによって、お客様は本契約書の条項に承諾されたものとします。

本契約書は、本ソフトウェアに関してお客様（個人または法人のいずれであるかを問いません）と CyberLink Corp.（以下「サイバーリンク」といいます）との間に締結される法的な契約書となります。

ライセンスの許諾および保証規定

本契約書をお読みになり、記載された条項に承諾される場合は、導入画面中に表示される本契約の同意を求める画面で「はい」をクリックしてください。記載された条項に承諾いただけない場合は、インストール作業を中止し、本ソフトウェアの利用を中止するとともに、本ソフトウェアをコンピュータ上から削除してください。

使用権の許諾

サイバーリンクは本ソフトウェアの非独占的な権利をお客様に対して許諾し、これによりお客様は、本ソフトウェアをご購入頂いたライセンス数に準じた台数のコンピュータへインストールし、本契約記載の条項に従って本ソフトウェアを利用することができるものとします。

本ソフトウェア、付属するマニュアルなどの文書または電子文書を含む一切の印刷物（以下「関連印刷物」といいます）の第三者への賃貸、貸与、販売、変更、修正、リパス・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、転用、商標の削除などとはできないものとします。

また、バックアップを目的として本ソフトウェアおよび関連印刷物の複製を作成する場合を除いて、本ソフトウェアおよび関連印刷物のコピーはできないものとします。

「再販禁止」表記のある場合を除いて、本ソフトウェアの最初のお客様は、本ソフトウェアおよび関連印刷物を一度に限りかつ他のユーザーに直接行う場合に限り、本契約書記載の条項に沿って恒久的に譲渡できるものとします。この場合、最初のお客様は本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップの一切を、物理的および電子的に

読み取りができないよう破棄し、コンピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物の一切を消去するとともに、譲渡されたユーザーは本契約記載の条項に承諾いただくものとします。これにより、当該ソフトウェアのご利用ライセンスは自動的に解除されます。

所有権

本ソフトウェアならびに関連印刷物の著作権、特許、商標権、ノウハウ及びその他のすべての知的所有権は、体裁、媒体、バックアップであるかの如何にかかわらず、その一切についてサイバーリンクに独占的に帰属します。

本契約書に特に規定されていない権利はすべてサイバーリンクによって留保されます。

アップグレード

本ソフトウェアが従来製品からのアップグレードであった場合、従来製品の使用権は本ソフトウェアの使用権に交換されるものとします。本ソフトウェアの導入または使用により、従来製品の使用許諾契約が自動的に解除されることにお客様は同意されたものとし、お客様による従来製品の使用ならびに第三者への譲渡はできなくなります。

第三者提供のコンテンツの利用

お客様が、本ソフトウェアにより第三者から提供される画像・音声データなどのコンテンツを再生し利用する場合、その権原および無体財産権は、各コンテンツ所有者の所有物であり、著作権法およびその他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。本契約書は、そのようなコンテンツの使用権を許諾するものではありません。

保証及び責任の限定

サイバーリンクは、本ソフトウェア、関連印刷物、およびサポートサービスに起因してお客様又はその他の第三者に生じた結果的損害、付随的損害及び逸失利益に関して、一切の瑕疵担保責任および保証責任を負いません。また、本ソフトウェア又は関連印刷物の物理的な紛失、盗難、事故及び誤用等に起因するお客様の損害につき一切の保証をいたしません。

サイバーリンクは、本ソフトウェア及び関連印刷物の機能もしくはサポートサービスがお客様の特定の目的に適合することを保証するものではなく、本ソフトウェアの選択、導入、使用、およびそれによって得られる結果については、すべてお客様の責任となります。

本契約書に記載のない保証条項が発見された場合、保証対象期間はお客様が本ソフトウェアを購入された日から90日以内とし、保証金額はお客様が本ソフトウェアの購入のためにお支払いいただいた金額を超えないものとします。

お客様が本契約を解除する場合、本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップを含む一切を、物理的および電子的に読み取りできない状態で破棄するとともに、コンピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物の一切を消去するものとします。本契約は、本ソフトウェアに関してお客様とサイバーリンクとの間に締結され、台湾における法律に準拠します。本契約に起因する紛争の解決については、Taiwan Arbitration Act. に準ずるものとします

著作権

All rights reserved. CyberLink Corporation の文書による許可なく本書の一部あるいは全部を作り変えたり、検索システムに保存したり、あるいは電子的、機械的、フォトリソ、記録的方法を含め、いかなる方法においても転送することを禁止します。

法律の認める範囲において、CyberLink PowerDVD は情報、サービス、または CyberLink PowerDVD に関連して提供される製品についていかなる保証も行わないこと、商品性、特定目的への適合性、プライバシー保護の見込み、非侵害性についていかなる暗示的保証も行わないことを含め、明示または暗示の有無に関わらずいかなる保証も行わず現状のままで提供されます。

このソフトウェアをご使用になると、お客様は CyberLink がこのソフトウェアまたはこのパッケージに含まれる素材を使用した結果生じる直接的、間接的、結果的損失について一切責任を負わないことに同意したものとみなされます。

ここに記載する条件は、台湾の法律により管理および解釈されるものとします。CyberLink PowerDVD は本書に記載されるその他の会社名および製品名と同じく登録商標であり、識別を目的としてのみ記載されており、その所有権は各社が所有しています。

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Pro Logic, MLP Lossless, The "AAC" logo, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright 1992-2004 Dolby Laboratories. All rights reserved.

Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,003,467; 7,212,872 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS, DTS Digital Surround, ES, and Neo:6 are registered trademarks and the DTS logos, Symbol and DTS 96/24 are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.

Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS is a registered trademark and the DTS logos, Symbol, DTS-HD and DTS-HD Master Audio are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.

本社

所在地

CyberLink Corporation
15F., No. 100, Minquan Rd., Xindian Dist.
New Taipei City 231, Taiwan (R.O.C.)

Web サイト

<http://www.cyberlink.com>

TEL

886-2-8667-1298

FAX

886-2-8667-1300

Copyright © 2011 CyberLink Corporation. All rights reserved.

目次

紹介	1
主な機能	1
PowerDVD モード	1
メディア再生タブ	2
このバージョンの新機能	2
PowerDVD のバージョン	3
ソフトウェアをアップグレードする	8
システム要件	9
 PowerDVD を使う	 13
メディアを再生する	14
ムービーディスクを再生する	14
動画を再生する	16
画像を表示する	21
音楽を再生する	25
ネットワークから共有メディアを再生する	28
デバイスでメディアを再生する	29
再生コントロール	32
ムービー / 動画タブのコントロール	33
画像タブのコントロール	37
音楽タブのコントロール	39
メディア再生メニュー	40
エキスプレス メニュー	44
再生メニュー	50
PowerDVD Remote	51
再生機能	54
TrueTheater エフェクト	55
3D 再生	58
コメント	61
ブックマークの機能	62

拡張機能	65
チャプタービューアー	70
メニューにアクセスする	71
市販ディスクのメニュー	71
ブルーレイ ディスクのポップアップ メニュー	72
DVD-VR 形式でメニューを使用する	73
その他の便利な機能	73
その他のホット キー	73
特殊キーボード用追加ホット キー	74
タイム サーチ	75
外部字幕を読み込む	75

PowerDVD ムービーの追加機能..... 77

ムービー情報	77
MoovieLive	77
ムービー情報	78
MovieMark	79
パーソナル メモ	79
ディスク情報	80
ムービー コレクション	80
コレクション	81
MovieMark	82
PowerDVD での視聴記録	82

設定 83

ユーザー インターフェイス	83
プレーヤー	83
プレーヤーの詳細設定	84
動画の設定	86
動画の詳細設定	88
音声の設定	88
音声の詳細設定	92

縦横比	96
DVD の設定	97
ブルーレイ ディスクの設定	98
ブルーレイ ディスクの詳細設定	99
MoovieLive の設定	101
情報	102
モバイル電源設定	102
 テクニカル サポート	 105
テクニカル サポートにお問い合わせになる前に	105
Web サポート	106
 索引	 107

第 1 章：

紹介

CyberLink のホーム エンターテイメント製品をご利用いただきありがとうございます。CyberLink PowerDVD は、様々な機能とコントロールを搭載したユニバーサル メディア プレーヤーです。

この章では、CyberLink PowerDVD の主な機能と最新機能の概要について紹介します。また、最小要件についても紹介します。

注：当ガイドは参考資料です。また、内容および対応するプログラムは予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

主な機能


CyberLink PowerDVD は、ブルーレイ 3D ディスク*、ブルーレイ ディスク*、DVD、および大半の動画と音声形式に対応しています。他にも、画像をスライドショーで再生したり、携帯電話などのメディアを再生したり、YouTube の動画を再生したりすることができます。

また、2D 映像および画像*を 3D に変換したり、ムービーの MovieMark、コメント、レビューをリアルタイムで共有することもできます。ムービーコレクション*で、ディスクおよびムービーの視聴履歴をチェックしたりすることもできます。

CyberLink PowerDVD は、PC 向けのメディア 再生プレーヤーです。

PowerDVD モード

メディア コンテンツを再生するのに、**クラシック モード** および **シネマ モード** の二つのモードが利用できます。

- **クラシック モード**：クラシック モードは、CyberLink PowerDVD のメインモードで、当ガイドで紹介する機能がすべて含まれます。
- **シネマ モード**：シネマ モード*は、リモコンを使って離れた場所 (3.5 メートル程度) でムービーを再生するのに適したモードです。シネマ モードに切り替えるには、タイトルバー上の  ボタンをクリックします。シネマ

モードは CyberLink PowerDVD のシンプルバージョンで、クラシック モードのすべての機能はご利用いただけません。

注：* この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

シネマ モードは、CyberLink PowerDVD および Windows Media Center* がインストールされている場合、一体化されます。CyberLink PowerDVD のショートカットは、Windows Media Center の TV + Movie セクションにあります。

注：シネマ モード機能の詳細については、ヘルプ ファイルを参照してください。

メディア再生タブ

クラシック モードには、各メディアにアクセス、再生するための 5 つのメディア タブがあります。メディア再生タブは次の通りです。

- **ムービー**: ムービー ディスク (ブルーレイ 3D ディスク*、ブルーレイ ディスク*、DVD、VCD、SVCD など) を再生。
- **動画**: コンピューター中の動画ファイル、DLNA/UPnP メディア サーバーからのストリームビデオ、YouTube の動画を再生。
- **画像***: コンピューター、ネットワーク、ソーシャル メディア サイト (Facebook および Flickr) からの画像を表示したり、スライドショーで再生。
- **音楽**: コンピューター、ネットワーク、ディスク上のあらゆる音楽を再生。
- **デバイス***: ポータブル デバイスからリモート操作したり、デバイスのメディアを共有して PC で再生。

注：* この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

このバージョンの新機能

このバージョンの CyberLink PowerDVD の新機能は次の通りです。

- **フォト*** スライドショーを 2D、3D で表示したり、TrueTheater 3D* で 2D 画像を 3D に変換。

- メディア タブを使って、ムービー、動画、音楽、フォト スライドショー、外部デバイス * のメディアに簡単アクセスおよび再生。
- シネマ モードを 3D* ユーザー インターフェイスで表示。
- DLNA/UPnP メディア サーバー * から音楽、動画、画像をストリーミングまたはダウンロードして、CyberLink PowerDVD で再生。
- PowerDVD Remote を使って Android デバイス や iPhone をコントロール * したり、デバイスのメディアを共有して PC で再生。
- YouTube* に動画をアップロード * したり、CyberLink PowerDVD のユーザー インターフェイスから YouTube の動画を再生 *。
- 3D 映像をアップロード * したり、YouTube 3D にアップロードする前に、2D 映像を 3D に変換 *。
- Flickr および Facebook に画像をアップロード * したり、CyberLink PowerDVD のユーザー インターフェイスから Web サイトの画像を表示 *。
- Windows 7 ライブラリーに対応 (音声、動画、画像を表示時)。

注 : * この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

PowerDVD のバージョン

CyberLink PowerDVD で利用可能な機能は、お使いのバージョンによって異なります。

バージョンおよびビルド番号を確認するには、左上の PowerDVD ロゴをクリックするか、キーボードで [Ctrl+A] を押します。。

機能	Ultra	Deluxe	Standard	Essential
動画 / 画像の機能および処理技術				
TrueTheater™ - HD (ハイデフィニション)	あり	あり	あり	あり
TrueTheater™ - Motion	あり	あり	あり	あり
TrueTheater™ - Lighting (CyberLink Eagle Vision2)	あり	あり	あり	あり

機能	Ultra	Deluxe	Standard	Essential
TrueTheater™ - Stretch (CyberLink Pano Vision)	あり	あり	あり	あり
TrueTheater™ - Noise Reduction	あり	あり	あり	あり
TrueTheater™ - Stabilizer	あり	あり	あり	あり
スマート ビデオ デイン ターレース	あり	あり	あり	あり
TrueTheater™ 3D - DVD および動画	あり	あり	--	--
TrueTheater™ 3D - 画像	あり	あり	--	--
音声機能および処理技術				
TrueTheater™ - Surround (ヘッドフォ ン モード)	あり	あり	あり	あり
TrueTheater™ - Surround (パーティクル サラウンド モード)	あり	あり	あり	あり
TrueTheater™ - Surround (マルチチャ ネル環境印象モード)	あり	あり	あり	あり
Dolby Headphone	あり	あり	--	--
Dolby Virtual Speaker	あり	あり	--	--
Dolby Digital EX	あり	あり	--	--
Dolby Digital デコー ダー	5.1 ch	5.1 ch	5.1 ch	2 ch
Dolby Pro Logic IIx	あり	あり	--	--
Dolby Digital Plus	7.1 ch	5.1 ch	5.1 ch	--

機能	Ultra	Deluxe	Standard	Essential
Dolby TrueHD	7.1 ch	--	--	--
DTS デコーディング	5.1 ch	5.1 ch	5.1 ch	--
DTS 96/24	あり	あり	あり	--
DTS-HD マスター オーディオ	5.1 ch	--	--	--
AAC デコーディング	5.1 ch	2 ch	2 ch	--
音声タイム ストレッチ	あり	あり	あり	あり
音声ピッチ スケーリング	あり	あり	あり	あり
対応するディスクおよびファイル形式				
HDD の非保護のブルーレイディスクフォルダー	あり	--	--	--
サイド バイ サイド ブルーレイ 3D ディスク	あり	--	--	--
BD-ROM	あり	--	--	--
BD-R 1.1/RE 2.1	あり	--	--	--
BD-Profile 1.1 (ボーナスビュー)/Profile 2.0 (BD Live)	あり	--	--	--
AVCHD	あり	--	--	--
AVCREC	あり	--	--	--
DivX ファイル	あり	あり	--	--
WMV-HD ファイル	あり	あり	あり	あり
H.264 ファイル	あり	あり	あり	--
MKV (H.264) ファイル	あり	あり	あり	--

機能	Ultra	Deluxe	Standard	Essential
FLV ファイル	あり	あり	あり	--
CPRM	あり	あり	--	--
DVD-VR on DVD-RAM/ RW	あり	あり	あり	あり
DVD-VR on DVD-R	あり	あり	あり	あり
DVD+VR/ ランダム アク セス	あり	あり	あり	あり
IFO (DVD on HDD)	あり	あり	あり	あり
再生コントロールおよび機能全般				
DLNA メディア サー バーから動画、音楽、 画像をストリーム	あり	あり	あり	--
DLNA/DTCP-IP メディア サーバーからプレミア ムコンテンツをスト リーム	あり	--	--	--
YouTube 動画の再生	あり	あり	あり	--
Facebook および Flickr の画像を表示	あり	あり	あり	あり
2D フォト スライド ショー	あり	あり	あり	あり
3D フォト スライド ショー	あり	あり	--	--
Facebook および Flickr の画像にコメントを追 加	あり	あり	あり	あり
PowerDVD シネマ再生 モード	あり	あり	あり	--

機能	Ultra	Deluxe	Standard	Essential
PowerDVD シネマ再生 モードの UI で 3D 表示	あり	あり	--	--
PowerDVD MCE プラグ イン	あり	あり	あり	--
PowerDVD MCE プラグ インの UI で 3D 表示	あり	あり	--	--
二重字幕 / バイリンガ ル キャプション	あり	あり	あり	あり
動画ファイル字幕対応 形式 (SMI、ASS、SSA、 PSB、SRT、SUB)	あり	あり	あり	あり
ムービー コレクション	あり	あり	あり	あり
PowerDVD Remote アプ リ	あり	あり	オプショ ン	--
コメント	あり	あり	あり	あり
ブックマーク	あり	あり	あり	あり
YouTube および Facebook に動画 (2D) を アップロード	あり	あり	あり	--
YouTube に動画 (3D) を アップロード	あり	あり	--	--
Facebook および Flickr に画像をアップロード	あり	あり	あり	あり
Say-It-Again	あり	あり	あり	あり
See-It-All	あり	あり	あり	あり
Read-It-Clearly	あり	あり	あり	あり
DVD にブックマークを 追加	あり	あり	あり	あり

機能	Ultra	Deluxe	Standard	Essential
動画ファイルにブックマークを追加	あり	あり	あり	あり
デジタルズーム	あり	あり	あり	あり
Pan & Scan	あり	あり	あり	あり
スナップショット キャプチャー	あり *	あり	あり	あり


注：* ブルーレイ ディスクのコンテンツには対応していません。

ソフトウェアをアップグレードする

CyberLink では、定期的にソフトウェアのアップグレードおよびアップデート (パッチ) を提供しています。アップグレード / アップデートが可能になると、自動的に確認メッセージが表示されます。

注：この機能を使うには、インターネットに接続する必要があります。

ソフトウェアをアップデートするには、次の操作を行います。

- 次のいずれかの操作を行って、アップグレードの情報ウィンドウを開きます。
 -  ボタンをクリックします。
 - キーボードの [I] キーを押します。
 - [バージョン情報] または設定ウィンドウの [アップグレード] ボタンをクリックします。
- アップグレードする機能またはアップデートするパッチをクリックします。
- [アップグレード情報] のウィンドウが開きます。アップグレードを購入したり、最新パッチをダウンロードします。

システム要件

CyberLink PowerDVD のシステム要件は、再生中のムービー コンテンツによって異なります。3D ムービー コンテンツを再生するには、他のハードウェアが必要になります。3D 対応のハードウェアおよびグラフィック カードに関する詳細は、CyberLink Web サイトの PowerDVD ページのハードウェア サポートのセクションを参照してください。


処理能力に適したビデオ デインターレースを選択することで、パフォーマンスが最適化されます。一部の CyberLink TrueTheater 技術をオフにすることで (デフォルト設定)、1.6GHz 以下のプロセッサに対応します。高度な音声および動画の機能を使う場合は、2.4 GHz 以上のプロセッサが適しています。

ブルーレイ ディスク、DVD、TrueTheater 3D 再生時に必要なシステム要件


OS

- Microsoft Windows 7、Vista* または XP SP3* (Windows XP Service Pack 3 が必要)。

プロセッサ (CPU)

- ブルーレイ ディスク再生 : Pentium 4 541 (3.2 GHz)、Athlon 64 X2 3800+ 以上。
- TrueTheater  再生 : Pentium D 950 (3.0 GHz)、AMD Athlon 64 X2 3800+ 以上。
- DVD 再生 : Pentium 4 (2.4 GHz)、Athlon 64 2800+ (1.8 GHz) 以上。

グラフィック カード (GPU)

- ブルーレイ ディスク再生 : Intel G45、ATI Radeon HD 2400、NVIDIA GeForce 7600GT 以上。
- TrueTheater  再生 : Intel G45、ATI Radeon HD 2400、NVIDIA GeForce 8800GT 以上。
- DVD 再生 : DirectX 9.0 以上に対応の AGP または PCI Express グラフィック アクセラレーター。

注 : グラフィック カードのドライバーは必ず最新バージョンにアップデートしてください。TrueTheater 3D で再生するには、3D ディスプレイが必要です。

システム メモリー (RAM)

- ブルーレイ ディスク再生 : Windows Vista および Windows 7 では 2 GB、Windows XP では 1GB が必要。

- DVD および TrueTheater 3D 再生 : Windows Vista および Windows 7 では 1 GB、Windows XP では 512 MB が必要。

ハード ディスク容量

- 300 MB

ディスプレイ デバイス

- DVD および Blu-ray Disc 再生 : デジタル出力用の HDCP 対応のディスプレイ。アナログ出力用のテレビまたはコンピューター モニター。
- TrueTheater 3D 再生 : 3D ディスプレイおよび 3D メガネ。デジタル出力用の HDCP 対応のディスプレイ。アナログ出力用のテレビまたはコンピューター モニター。

ディスクドライブ

- ブルーレイ ディスク再生 : BD-ROM/BD-RE またはスーパー マルチ ブルー コンボ ディスクドライブ。
- DVD および TrueTheater 3D 再生 : DVD-ROM、DVD+R/RW、DVD-RAM または DVD スーパー マルチ コンボ ディスクドライブ。

ポータブル デバイス

- [PowerDVD Remote] および [デバイス] タブのリモコンおよび共有機能を使うには、Android デバイスまたは iPhone が必要。

インターネット接続

- Web サービスには、インターネットに接続する必要があります。

注 : * Windows XP は、NVIDIA 3D Vision 対応の CyberLink PowerDVD に対応していません。

ブルーレイ 3D 再生時に必要なシステム要件 (ハードウェア アクセラレーション有効時)

OS

- Microsoft Windows 7、Vista* または XP SP3* (Windows XP Service Pack 3 が必要)。

CPU

Intel Pentium D 950 (3.0 GHz)、AMD Athlon 64 X2 4600+ (2.4 GHz) 以上。

システム メモリー (RAM)

- 2 GB。

グラフィック カード (GPU)

- Intel Graphic Media Accelerator HD (Intel Core i3/i5)、NVIDIA GeForce GTX 400 シリーズ、GeForce GT 240/320/330/340。

ディスプレイ デバイス

- 3D ディスプレイおよび 3D メガネ (NVIDIA 3D Vision*、3D Ready HDTV、Micro-polarizer LCD、アナグリフ赤青メガネ)。デジタル出力用の HDCP 対応のディスプレイ。

注 : * Windows XP は、NVIDIA 3D Vision 対応の CyberLink PowerDVD に対応していません。

Blu-ray 3D 再生時に必要なシステム要件 (ハードウェア アクセラレーション 無効時)

OS

- Microsoft Windows 7、Vista* または XP SP3* (Windows XP Service Pack 3 が必要)。

CPU

Intel Core 2 Duo E6750 (2.66 GHz)、AMD Phenom 9450 (2.10 GHz) 以上。

システム メモリー (RAM)

- 2 GB。

グラフィック カード (GPU)

- Intel G45、ATI Radeon HD2400、NVIDIA GeForce 7600GT 以上。

ディスプレイ デバイス

- 3D ディスプレイおよび 3D メガネ (NVIDIA 3D Vision*、3D Ready HDTV、Micro-polarizer LCD、アナグリフ赤青メガネ)。デジタル出力用の HDCP 対応のディスプレイ。

注 : * Windows XP は、NVIDIA 3D Vision 対応の CyberLink PowerDVD に対応していません。

第2章：

PowerDVD を使う

この章では CyberLink PowerDVD の主な機能と操作について説明します。再生可能なメディアおよびコントロール、キーボードショートカットの詳細についても説明します。ディスクメニューへのアクセス方法や、便利な再生機能も紹介します。

CyberLink PowerDVD のクラシック モードは次のように表示されます。



A - PowerDVD 11 バージョン情報、B - PowerDVD のアップグレード / アップデート、C - メディア再生タブ、D - PowerDVD の設定、E - シネマモードに切り替え、F - コメントの共有、G - 3D 再生、

H - TrueTheater コントロール、I - プレーヤー コントロール、J - 拡張機能、K - ブックマーク機能、
L - メディア再生メニュー、M - コメント


メディアを再生する

CyberLink PowerDVD は、ハイデフィニション コンテンツ、DVD、動画ファイル、オーディオ CD、フォト スライドショー、音楽ファイルなど、各種デジタル メディアの再生が可能です。

CyberLink PowerDVD を起動すると、5 つのメディア再生タブが表示されます。ディスクのムービーを再生するには、[**ムービー**] タブ (BD*、DVD、VCD) を選択します。動画ファイルにアクセス、再生するには[**動画**] タブを選択します。フォト スライドショーを再生するには、[**画像**]* を選択します。各形式の音声ファイルを再生するには[**音楽**] タブを選択します。Android デバイスや iPhone からリモートでメディア コンテンツを再生するには[**デバイス**] タブを選択します。

注：* この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

ムービー ディスクを再生する

ビデオ ディスクをディスクドライブにセットすると、自動的に再生が始まります。CyberLink PowerDVD 起動時に、すでにディスクがドライブに入っている場合は、[**ムービー**] タブ (BD*、DVD、VCD など) の  をクリックしてディスクドライブを選択し、ディスクが入っているドライブを選択して、[再生] ボタンをクリックします。

注：ムービー再生中に利用可能なコントロールの一覧および詳細は、33 ページの「ムービー / 動画タブのコントロール」を参照してください。


対応するディスク形式

CyberLink PowerDVD が対応する光学ディスクは、次の通りです。

光学ディスクの種類	ファイル形式
ブルーレイディスク*/ブルーレイ 3D** ディスク	BDAV、BDMV
DVD	DVD-Video、AVCHD*、AVCREC*、DVD-VR、DVD+VR
CD	VCD、SVCD

注：* この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。** ブルーレイ 3D 再生対応の CyberLink PowerDVD のバージョンでは、設定で再生を有効にする必要があります。有効化に関する詳細については、100 ページの「ブルーレイ 3D」を参照してください。

[ムービー] タブからも、ハードドライブ中の DVD および保護されていないブルーレイディスクフォルダーを再生することができます。DVD およびブルーレイディスクフォルダーを再生するには、次の操作を行います。

1. [ムービー] タブを選択します。
2.  をクリックして、[ハードドライブのムービー ファイルを開く] を選択します。
3. コンピューターのハードドライブからフォルダーを参照、選択します。
4. [再生] ボタンをクリックして再生を開始します。

オート レジューム (続きから再生)

ディスクの再生中に CyberLink PowerDVD を停止または終了し、その後別のメディアまたはディスクを再生した場合でも、次回元のディスクを再生する際には、前回最後に見たシーンから再生することができます。

オート レジューム機能により、前回停止したシーンが記録されます。この機能には、次のオプションがあります。

- [続きから再生] をクリックすると、前回停止したシーンから続きを見ることができます。

- ・ [**最初から再生**] をクリックすると、ディスクの最初から再生が始まります。
- ・ DVD の再生中に、リモコン、ノートブックのタッチパッド、キーボードの矢印を使うか、マウスでサムネイルをクリック&ドラッグして、FancyView のチャプター サムネイルをスクロールします。チャプター サムネイルを 1 つ選ぶと、そのチャプターから再生が開始します。

注：レジューム (続きから再生) 機能は動画ファイルには対応しません。IFO ファイルがある場合、ハード ディスク中の DVD ファイルのみに対応します。

ディスク挿入時にダイアログが表示されないようにするには、オート レジュームの設定を無効にします。詳細は、83 ページの「プレーヤー」の「**オート レジューム設定 (続きから再生)**」を参照してください。

動画を再生する

[**動画**] タブをクリックすると、動画ファイルおよび YouTube の動画を再生することができます。

注：動画ファイル再生中に利用可能なコントロールおよび再生機能は、33 ページの「ムービー / 動画タブのコントロール」を参照してください。

対応する動画ファイル形式

CyberLink PowerDVD が対応する動画形式は、次の通りです。



動画形式 : 3GP、3G2、ASF、AVC、AVI、DAT、DIV、DivX*、DVR-MS、FLV、M1V、M2TS、M2V、MOD、MOV、MP4、MPEG、MPG、MPV、TIVO、TOD、TRP、VRO、WTV、MKV、VOB、WMV。

注：* この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

動画ファイルを再生する

動画ファイルを再生するには、次のいずれかの操作を行います。

- CyberLink PowerDVD のユーザー インターフェイスに、動画ファイルを直接ドラッグ & ドロップします。
- Windows 7 のライブラリーの動画ファイルを再生するには、ソース ペインの[ライブラリー]を選択して、動画を含むフォルダーを検索します。動画ファイルをダブルクリックして、再生を開始します。

注:  をクリックすると、動画がサムネイルで表示され、 をクリックすると、一覧で表示されます。

- ハードドライブ中の動画ファイルを再生するには、ソース ペインの[コンピューター]を選択して、動画ファイルを含むフォルダーを検索します。動画ファイルをダブルクリックして、再生を開始します。



注: ネットワーク (UPnP/DLNA/DTCP-IP) メディア サーバーから動画ファイルも再生することができます。ネットワークのメディア再生に関する詳細は、28 ページの「ネットワークから共有メディアを再生する」を参照してください。

動画のプレイリストを作成する

[動画] タブでは、動画のプレイリストを作成し、動画を続けて再生することができます。

プレイリストを作成するには、次の操作を行います。

1. ソース ペインの[プレイリスト]セクションで、[新規プレイリスト]をクリックします。必要に応じて、プレイリストをダブルクリックして、プレイリストの名前を変更します。
2. プレイリストに入れる動画ファイルを含むフォルダーを検索します。
3. プレイリストに動画ファイルを追加するには、ソース ペインの[プレイリスト]セクションのプレイリスト名にファイルをドラッグ & ドロップします。
4. 作成したプレイリストの動画を再生するには、ソース ペインから希望のプレイリストを選択し、[再生] ボタンをクリックします。プレイリスト中のファイルがすべて再生されます。


注：[**プレイリスト**] セクションの  をクリックすると、作成したプレイリストのエクスポートまたは、PLS および M3U 形式で作成されたプレイリストをインポートすることができます。プレイリストを削除するには、その上にマウスを置き、 をクリックします。

YouTube の動画を再生する

[**動画**] タブから、YouTube の動画 * を直接再生することができます。

注：* この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

YouTube の動画を再生するには、次の操作を行います。

1. [**動画**] タブをクリックします。
2. ソース ペインの [**オンライン メディア**] セクションを選択します。
3.  をクリックして YouTube のアカウントにログインすると、登録チャンネル、お気に入り、マイ ビデオなどを表示することができます。
4. 希望のコラムを選択して、YouTube の動画をフィルターにかけます。
5. 動画を選択し、[**再生**] ボタンをクリックして再生を開始します。

動画をアップロードする

YouTube および Facebook に、著作権保護されていない動画を直接アップロードアップロード * することができます。

注：* この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。


YouTube に動画をアップロードする

YouTube には、2D および 3D* の動画をアップロードすることができます。アップロード処理中に 2D 映像を 3D* に変換することもできます。

注 : * この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

YouTube* に著作権保護されていない動画をアップロードするには、次の操作を行います。

注 : 一度に 2 つ以上の動画はアップロードできません。

1. [**動画**] タブをクリックします。
2. [**ウィンドウ ライブラリー**] またはソース ペインの [**コンピューター**] セクションから、YouTube にアップロードする動画を閲覧、選択します。
3.  をクリックします。
4. アップロードする動画の種類を、2D (YouTube 2D) または 3D (YouTube 3D) から選択します。3D を選択したら、ソース形式を選びます。TrueTheater 3D で 2D 映像を 3D に変換するには、[2D (3D に**変換**)] を選択します。[**次へ**] をクリックして続行します。
5. [YouTube に動画をアップロードする] ウィザードが開き、サインイン ウィンドウが表示されます。YouTube にサインインするには、次のいずれかを実行します。
 - すでに YouTube のアカウントをお持ちの場合は、ユーザー名およびパスワードを入力し、[**次へ**] ボタンを選択してサインインし、YouTube アカウントに動画をアップロードする認証を得ます。
 - YouTube のアカウントをまだお持ちでない方は、[YouTube に**サインアップ**] ボタンを選択して、新規のアカウントを作成し、YouTube アカウントに動画をアップロードする認証を得ます。
6. [動画の内容を説明する] ウィンドウが表示されます。動画の詳細を次のように入力します。
 - **タイトル** : 動画のタイトルを入力します。
 - **説明** : 動画の説明を入力します。
 - **タグ** : タグを入力します。複数のタグを入力するには、カンマで区切ります。タグは、YouTube サイトでの検索キーワードとして使用されます。


注：動画をアップロードする前に、タイトル、説明、1つ以上のタグを入力する必要があります。

- **動画のカテゴリ**：一覧から、動画のカテゴリを選択します。
 - **ブロードキャスト**：[公開]または[非公開]のいずれかを選択して、公開の有無を設定します。
7. [次へ]ボタンをクリックして、次に進みます。[著作権情報を確認する]ウィンドウが表示されます。
 8. チェックボックスを選択して著作権情報を確認し、[次へ]ボタンをクリックしてYouTubeに動画をアップロードします。動画のアップロードが完了したら、[完了]ボタンをクリックします。

Facebookに動画をアップロードする

Facebookに動画をアップロードすることができます。Facebookに著作権保護されていない動画をアップロードするには、次の操作を行います。

注：一度に2つ以上の動画はアップロードできません。

1. [動画]タブをクリックします。
2. [ウィンドウライブラリー]またはソースペインの[コンピューター]セクションから、Facebookにアップロードする動画を閲覧、選択します。
3.  をクリックします。
4. [OK]をクリックしてFacebookアカウントへのアクセス認証を行います。サインインして、認証プロセスを完了します。完了したら、[閉じる]をクリックして続行します。
5. [Facebookにアップロード]ウィザードが開き、[メディアの説明]ウィンドウが表示されます。動画の詳細を次のように入力します。
 - **タイトル**：動画のタイトルを入力します。
 - **説明**：動画の説明を入力します。

注：動画をアップロードする前に、タイトルと説明を入力する必要があります。

6. [**アップロード**] ボタンをクリックして、次に進みます。動画のアップロードが完了したら、[OK] をクリックします。

画像を表示する

[**画像**]* タブをクリックして、コンピューター内の画像を表示、スライドショーで再生します。

注：画像、スライドショーを表示中に利用可能なコントロールおよび再生機能は、37 ページの「画像タブのコントロール」を参照してください。

対応する画像形式

CyberLink PowerDVD が対応する画像形式は、次の通りです。

画像形式 *: BMP、JPG、JPS、MPO、PNG。

サイド バイ サイド 3D* および RAW* 画像形式にも対応します。

注：* この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

フォト スライドショーを再生する

フォト スライドショーを再生するには、次のいずれかを実行します。

注：CyberLink PowerDVD で音楽を再生している場合は、画像やスライドショーの表示中も再生を継続します。

- ・ ユーザー インターフェイスに画像を直接ドラッグ & ドロップして、[再生] ボタンをクリックします。
- ・ Windows 7 のライブラリー中の画像でスライドショーを再生するには、ソース ペインの[**ライブラリー**]を選択して、画像を含むフォルダーを検索します。画像を選択して[再生] ボタンをクリックすると、フォルダー中の全画像を含むスライドショーを再生します。

注：[サムネイル] をクリックすると、画像がサムネイルで表示され、[一覧] をクリックすると、一覧で表示されます。

- ハードドライブ中の画像でスライドショーを再生するには、ソースペインの[コンピューター]を選択して、画像を含むフォルダーを検索します。画像を選択して[再生]ボタンをクリックすると、フォルダー中の全画像を含むスライドショーを再生します。

注：ネットワーク (UPnP/DLNA/DTCP-IP) メディア サーバーから画像もスライドショー再生することができます。ネットワークのメディア再生に関する詳細は、28 ページの「ネットワークから共有メディアを再生する」を参照してください。

カスタム フォト スライドショーを作成する

[画像] タブでは、お気に入りの画像を含むカスタムのスライドショーを作成することができます。

カスタムのスライドショーを作成するには、次の操作を行います。

- [画像] タブをクリックします。
- [スライドショー] セクションで、[新規スライドショー] をクリックします。必要に応じて、スライドショーをダブルクリックして、スライドショーの名前を変更します。
- スライドショーに入れる画像を含むフォルダーを検索します。
- スライドショーに画像を追加するには、画像をクリックして、[スライドショー] セクションのスライドショー名の上にドラッグ & ドロップします。
- スライドショーを再生するには、[スライドショー] セクションから希望のスライドショーを選択し、[再生] ボタンをクリックします。スライドショー中の画像がすべて再生されます。



注：[スライドショー] セクションの [削除] をクリックすると、作成したスライドショーのエクスポートまたは、PLS および M3U 形式で作成されたスライドショーをインポートすることができます。[一括削除] をクリックすると、一覧からスライドショーが削除されます。

オンライン画像を表示する

[画像] タブから、Facebook および Flickr の画像 * を表示することができます。

注 : * この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

オンライン画像を表示するには、次の操作を行います。

1. [**画像**] タブをクリックします。
2. ソース ペインの [**オンライン メディア**] セクションをクリックします。
3. Facebook の画像を表示するには :
 - [Facebook] タブをクリックして、 をクリックします。[OK] をクリックして Facebook アカウントへのアクセス認証を行います。サインインして、認証プロセスを完了します。完了したら、[**閉じる**] をクリックして、Facebook 中のアルバムおよび友達の画像を表示します。
 - アルバムをダブルクリックして、画像を表示します。希望の画像を選択し、[再生] ボタンをクリックしてスライドショーで再生します。
4. Flickr の画像を表示するには :
 - [Flickr] タブをクリックして、 をクリックします。[OK] をクリックして Flickr アカウントへのアクセス認証を行います。サインインして、認証プロセスを完了します。完了したら、[**閉じる**] をクリックします。[**承認**] をクリックして、Flickr 中のアルバムおよび連絡先の画像を表示します。
 - アルバムをダブルクリックして、画像を表示します。希望の画像を選択し、[再生] ボタンをクリックしてスライドショーで再生します。


画像をアップロードする

CyberLink PowerDVD を使って、Facebook および Flickr にコンピューター中の画像 * をアップロードすることができます。

注 : * この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

Facebook に画像をアップロードする

Facebookに画像をアップロードするには、次の操作を行います。


1. [**画像**] タブをクリックします。
2. [**ウィンドウ ライブラリー**] またはソース ペインの [**コンピューター**] セクションから、Facebook にアップロードする画像を閲覧、選択します。
3.  をクリックします。[OK] をクリックして Facebook アカウントへのアクセス認証を行います。サインインして、認証プロセスを完了します。完了したら、[**閉じる**] をクリックして続行します。
4. [Facebook にアップロード] ウィザードが開き、[**メディアの説明**] ウィンドウが表示されます。画像の詳細を次のように入力します。
 - **アルバムの選択** : 画像をアップロードする Facebook の既存のアルバムを選択します。[**新規アルバムの作成**] を選択して、新規のアルバムに画像を追加します。**アルバム名** : 新規に作成するアルバムの名前を入力します。

注 : 新規にアルバムを作成する場合は、画像をアップロードする前にアルバム名を入力する必要があります。

- **アルバムの場所** : 画像の撮影場所を入力します。
 - **アルバムの説明** : アップロードする画像の説明を入力します。
 - **プライバシー** : アップロードする画像を表示可能な人を選択します。
 - **画像の追記説明** : アップロードする画像の下に表示される説明を入力します。
5. [**アップロード**] を選択して、Facebook への画像のアップロードを開始します。画像のアップロードが完了したら、[OK] をクリックします。

Flickr に画像をアップロードする

Flickr に画像をアップロードするには、次の操作を行います。

1. [**画像**] タブをクリックします。
2. [**ウィンドウ ライブラリー**] またはソース ペインの [**コンピューター**] セクションから、Flickr にアップロードする画像を閲覧、選択します。
3.  をクリックします。[OK] をクリックして Flickr アカウントへのアクセス認証を行います。サインインして、認証プロセスを完了します。完了したら、[**閉じる**] をクリックして続行します。

4. [Flickr にアップロード]ウィザードが開き、[メディアの説明]ウィンドウが表示されます。画像の詳細を次のように入力します。
 - ・ **サイズ変更**:可能な場合、サイズを変更します。
 - ・ **プライバシー**:アップロードする画像を表示可能な人を選択します。[公開]を選択すると、世界中のユーザーに公開されます。
 - ・ **追記タグ**:画像を説明するタグを入力します。
5. [アップロード]を選択して、Flickr への画像のアップロードを開始します。画像のアップロードが完了したら、[OK]をクリックします。

音楽を再生する

[音楽]タブをクリックして、オーディオ CD およびファイルを再生します。

注：音楽再生中に利用可能なコントロールおよび再生機能は、39 ページの「音楽タブのコントロール」を参照してください。

対応する音声形式

CyberLink PowerDVD が対応する音声形式は、次の通りです。

光学ディスクの種類	ファイル形式
CD	音声、カラオケ

音声ファイル形式:AC3、AOB、CDA、M3U、M4A、MID、MP2、MP3、RMI、WAV、WMA。

オーディオ ディスクおよびファイルを再生する

音声を再生するには、次のいずれかを実行します。

注：CyberLink PowerDVD で音楽を再生している場合は、[画像]タブで画像、スライドショーを表示中、[動画]および[デバイス]タブでメディアを閲覧中も、再生を継続します。動画の再生を開始するか、[ムービー]タブをクリックすると、再生は停止します。

- ・ ディスクドライブにオーディオ CD を挿入すると、再生が自動的に始まります。CyberLink PowerDVD の起動時に、すでにディスクドライブにディスクが入っている場合は、[音楽] タブをクリックし、[コンピューター] をクリックします。ソース ペインからディスクを含むドライブを選択します。[再生] をクリックして再生を開始します。
- ・ CyberLink PowerDVD のユーザー インターフェイスに、音声ファイルを直接ドラッグ & ドロップします。
- ・ Windows 7 のライブラリーの音声ファイルを再生するには、ソース ペインの[ライブラリー]を選択して、音声を含むフォルダーを検索します。音声ファイルをダブルクリックして、再生を開始します。

注：田字マークをクリックすると、音声ファイルがアルバム毎に表示され、長方形マークをクリックすると、一覧で表示されます。

- ・ ハードドライブ中の音声ファイルを再生するには、[音楽] タブをクリックして、ソース ペインの[コンピューター]を選択します。音声ファイルを含むフォルダーを検索します。音声ファイルをダブルクリックして、再生を開始します。

注：ネットワーク (UPnP/DLNA/DTCP-IP) メディア サーバーから音声ファイルも再生することができます。ネットワークのメディア再生に関する詳細は、28 ページの「ネットワークから共有メディアを再生する」を参照してください。

音楽のプレイリストを作成する



CyberLink PowerDVD の [音楽] タブでは、お気に入りの音楽を含むプレイリストを作成することができます。

注：オーディオ CD からプレイリストにトラックを追加することはできません。

音楽のプレイリストを作成するには、次の操作を行います。

1. [音楽] タブをクリックします。


2. [プレイリスト]セクションで、[新規プレイリスト]をクリックします。必要に応じて、プレイリストをダブルクリックして、プレイリストの名前を変更します。
3. プレイリストに入れる音楽ファイルを含むフォルダーを検索します。
4. プレイリストに音楽ファイルを追加するには、ソースペインの[プレイリスト]セクションのプレイリスト名にファイルをドラッグ&ドロップします。
5. 作成したプレイリストの音楽を再生するには、[プレイリスト]セクションから希望のプレイリストを選択し、[再生]ボタンをクリックします。プレイリスト中のファイルがすべて再生されます。

注:[プレイリスト]セクションの  をクリックすると、作成したプレイリストのエクスポートまたは、PLS および M3U 形式で作成されたプレイリストをインポートすることができます。 をクリックすると、一覧からプレイリストが削除されます。

カラオケ ディスクを再生する

CyberLink PowerDVD を使用して、カラオケの DVD や VCD を再生することができます。再生を始める前に、DVD/VCD のケースにカラオケ マークがついていることを確認してください。


カラオケ オプションを選択する

1. カラオケ ディスクを挿入したら、マイクが正しく取り付けであることを確認してください。
2. [再生]ボタンをクリックして、メニュー画面を表示します。
3. [拡張機能]ウィンドウのメニューパッドのナビゲーション ボタンを使用するか、マウスでクリックして曲を選択します。
4. 再生中に、[拡張機能]の  ボタンをクリックするか、エクスプレス メニュー (画面を右クリック) から [カラオケ] を選択します。
5. [左] または [右] (左+右) のボーカル チャンネルから選択します。
6. カラオケ VCD を再生する場合、エクスプレス メニューで声と音楽のミキシングに適した音声チャンネルを選択します。

ピッチの調整

カラオケのピッチは [ピッチの調整] 機能で調節します。

ピッチを調節するには、次の操作を行います。

1. [拡張機能]にある  ボタンを右クリックします。
2. [ピッチの調整]を選択し、ピッチを調整します。

ネットワークから共有メディアを再生する

ネットワーク (UPnP、DLNA、DTCP-IP) メディア サーバー * から動画、音楽、画像を再生することができます。

注：ネットワークから共有メディアを再生する場合、再生中のメディア種類によって、再生コントロールの表示形式は異なります。各メディアを再生中に利用可能なコントロールおよび再生機能は、32 ページの「再生コントロール」を参照してください。* この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

メディアを共有する

ネットワーク コンピューターのメディアを共有するには、次のいずれかを実行します。

- ネットワーク コンピューターに CyberLink PowerDVD 11 をインストールします。
- ネットワーク コンピューターに UPnP/DLNA/DTCP-IP 準拠のメディア サーバー (CyberLink MediaServer など) をインストールします。

対応するファイル形式

CyberLink PowerDVD でネットワークの共有メディアを再生する場合、次の形式が対応します。

動画 : H.264 (MPEG-4)、MPEG-2 PS、MPEG-2 TS、WMV。

画像 : BMP、JPG、PNG。

音声 : AAC_ADTS_320 (3GP)、AAC_ISO_320 (3GP)、LPCM、MP3、WMA。

共有メディアを再生する


ネットワーク (UPnP、DLNA、DTCP-IP) メディア サーバーからメディア ファイルを再生するには、次の操作を行います。

1. 対応するメディア タブ ([**動画**]、[**画像**]、[**音楽**]) のソース ペインから [**ホーム メディア**] を選択します。
2. 希望するメディアを含むネットワークの場所を検索します。
3. メディア ファイルをダブルクリックして、再生を開始します。DVD フォルダーを再生するには、DVD フォルダーを選択して [再生] ボタンをクリックします。

共有メディアをダウンロードする

ネットワーク (UPnP、DLNA、DTCP-IP) メディア サーバーからメディアをストリーミングする時に、メディアをお使いのコンピューターにダウンロードすることができます。

共有メディアをダウンロードするには、次の操作を行います。

1. [**ホーム メディア**] セクションから、ダウンロードするメディア ファイルをすべて選択します。
2. ウィンドウ右下の  ボタンをクリックします。
3. ダイアログが開きます。[**参照**] ボタンをクリックして、メディアを保存するコンピューターの場所を選択します。
4. [**保存**] をクリックして、コンピューターにダウンロードします。

デバイスでメディアを再生する

[**デバイス**]* タブをクリックして、Android デバイスや iPhone の動画や画像を再生します。

注：ポータブル デバイス中のメディアや、CyberLink PowerDVD 11 がインストールされているコンピューターは、PowerDVD Remote を使って再生をコントロールすることができます。詳細は、51 ページの「PowerDVD Remote」を参照してください。* この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

対応するファイル形式

CyberLink PowerDVD は、次のポータブル デバイスで、次の形式が対応します。

デバイス種類	メディア種類	ファイル形式
Android	動画	H.264 (MPEG-4)、MOV、MPEG-2 PS、MPEG-2 TS、WMV
Android	画像	BMP、JPG、PNG
iPhone	動画	MOV
iPhone	画像	JPEG

注：ポータブル デバイスに対応する音声ファイル形式の一覧は、25 ページの「対応する音声形式」を参照してください。

デバイスをセットアップする

ポータブル デバイス中のメディアにアクセス、再生する前に、次の操作を行います。



- CyberLink PowerDVD 11 がインストールされるコンピューターをワイヤレス ネットワークに接続します。
- Android デバイスまたは iPhone を同じワイヤレス ネットワークに接続します。
- オンライン ストア (Android App Market、iPhone App Store) から、PowerDVD Remote アプリ (無料) をダウンロードします。
- PowerDVD Remote アプリをポータブル デバイスにインストールします。
- ワイヤレス ネットワークに接続されたコンピューターで、[**デバイス**] タブ をクリックします。CyberLink PowerDVD で PowerDVD Remote を実行するデバイス中のメディアにアクセスするには、このタブに記載される **パスコード** をデバイスに入力する必要があります。

注：[**変更**] をクリックすると、新しい **パスコード** が生成されます。

メディアを再生する

ポータブル デバイスをワイヤレス ネットワークに接続し、PowerDVD Remote をインストールしたら、デバイス中のメディアを再生できるようになります。ポータブルデバイス中のメディアにアクセス、再生するには、次の操作を行います。

1. メディアを再生するコンピューターから CyberLink PowerDVD を起動します。
2. ポータブル デバイスの PowerDVD Remote アプリを起動します。PowerDVD Remote は、ネットワークに接続されたすべてのメディア サーバーを検出します。
3. リスト (CyberLink PowerDVD を起動するコンピューターの名称) から接続するサーバーを選択します。
4. 必要に応じて、メディア サーバーにアクセスする 4 桁のパスワードを入力します。PowerDVD Remote の [**モジュール**] ウィンドウが表示されます。
5. [**デバイス**] タブをクリックします。デバイスの共有画像セクションが自動的に表示されます。
6. [**デバイスでメディアを表示**] ペインで、画像または動画を選択し、共有コンテンツを検索します。

注 :  をクリックすると、メディアがサムネイルで表示され、 をクリックすると、一覧で表示されます。


7. メディア ファイルをダブルクリックして、再生を開始します。

注 : ポータブルデバイスでメディアを再生する場合、再生中のメディア種類によって、再生コントロールの表示形式は異なります。各メディアを再生中に利用可能なコントロールおよび再生機能は、32 ページの「再生コントロール」を参照してください。

共有メディアをダウンロードする

ポータブルデバイス中のメディアをストリーミングする時に、メディアをお使いのコンピューターにダウンロードすることができます。

ポータブルデバイスからメディアをダウンロードするには、次の操作を行います。

1. CyberLink PowerDVD の [**デバイス**] タブをクリックして、[**デバイスでメディアを表示**] ペインで接続したデバイスを選択します。
2. ダウンロードするメディア ファイルをすべて選択します。
3. ウィンドウ右下の  ボタンをクリックします。
4. ダイアログが開きます。[**参照**] ボタンをクリックして、メディアを保存するコンピューターの場所を選択します。
5. [**保存**] をクリックして、コンピューターにダウンロードします。

再生コントロール

再生コントロールを使用すると、ディスクやその他のメディア、またプログラムの再生機能のすべてに簡単にアクセスできます。CyberLink PowerDVD には、様々な再生コントロール オプション (ポップアップ コントロール、PowerDVD Remote* のリモート操作) が搭載されています。



注：* この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。



再生中のメディアによって、また、メディアを再生中、一時停止中、停止中の状態によって、再生コントロールの表示形式は異なります。









ムービー / 動画タブのコントロール





[ムービー]タブでディスクを、または[動画]タブで動画ファイルを再生中に、再生コントロールは次のように表示されます。



アイコン	ボタン	ホット キー	説明
A	ナビゲーション スライダー		再生経過時間を表示します。 スライダーをクリックすると、 ムービーまたは動画の他の シーン(時間)に移動します。
B	 メディア再生メ ニュー		再生中にこのボタンをクリック すると、メディア再生メ ニューにアクセスします。詳 細は、40 ページの「メディ ア再生メニュー」を参照して ください。
C	 拡張機能		ムービー再生中に、ナンバー パッドなどの拡張機能にアク セスします。詳細は、65 ペ ージの「拡張機能」を参照して ください。

アイ コン	ボタン	ホット キー	説明
D 	前へ	P	前のチャプターまたはフォルダー / プレイリスト中の前のムービーまたは動画に戻ります。
E 	再生 / 一時停止	Enter/ ス ペース バー	メディアを再生 / 一時停止します。
F 	早送り / コマ送り (一時停止中)	T/F	コンテンツを倍速で早送りします。動画を一時停止中に  ボタンまたはキーボードの [F] を押すと、次のフレームに移動します。
G	音量調整	+/-	音量を調整します。
H 	3D を有効にする *		3D でムービー / 動画ファイルを再生します。詳細は、58 ページの「3D 再生」を参照してください。
I	経過時間 / 残り時間		経過時間と残り時間を切り替えます。
J 	フルスクリーン	F5	フルスクリーン モードを切り替えます。
K 	3D ディスプレイの設定 *		3D ディスプレイおよび再生の設定を行います。詳細は、60 ページの「3D ディスプレイの設定」を参照してください。

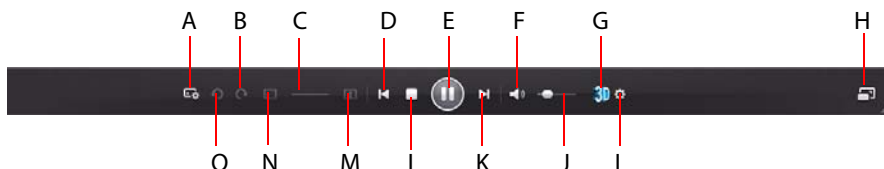
アイコン	ボタン	ホットキー	説明
L 	TrueTheater エフェクト *		TrueTheater ビデオ エフェクトのコントロールにアクセスします。詳細は、55 ページの「TrueTheater エフェクト」を参照してください。
M 	ミュート	Q	音量を消します。
N 	次へ	N	次のチャプターまたはフォルダー / プレイリスト中の次のムービーまたは動画に移動します。
O 	停止	S	メディアの再生を停止します。
P 	巻き戻し / コマ戻し (一時停止中)	B/E	コンテンツを倍速で巻き戻します。動画を一時停止中に  ボタンまたはキーボードの [E] を押すと、前のフレームに移動します。
Q 	ブックマークの機能		DVD ムービーおよび動画のお気に入りのシーンにブックマークを付けて、[ブックマークビューアー] にアクセスします。詳細は、62 ページの「ブックマークの機能」を参照してください。
R 	リピート	Ctrl+R	チャプター、ディスク タイトル、動画ファイルを繰り返し再生します。




アイコン	ボタン	ホット キー	説明
	ムービー情報		ディスクの再生を停止時にこのボタンをクリックすると、[ムービー情報]ウィンドウにアクセスします。詳細は、77 ページの「ムービー情報」を参照してください。
	ムービー コレクション		ディスクの再生を停止時にこのボタンをクリックすると、[ムービーコレクション]ウィンドウにアクセスします。詳細は、80 ページの「ムービーコレクション」を参照してください。
	ポップアップメニュー *	Ctrl+P	ブルーレイ ディスクの再生中にこのボタンをクリックすると、ディスク コンテンツからポップアップ メニューを表示します。
	ディスクの取り出し	Ctrl+E	選択したディスクドライブから、ディスクを取り出します。

注：* この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

画像タブのコントロール

[画像] タブで画像およびスライドショーを表示中に、再生コントロールは次のように表示されます。

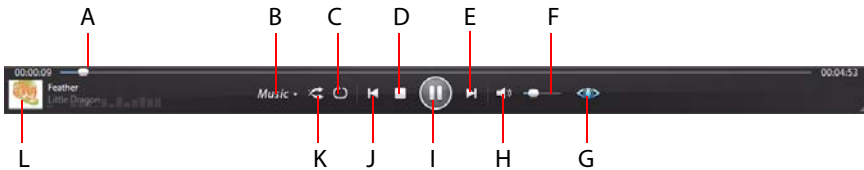






アイコン	ボタン	ホット キー	説明
A			スライドショーの環境設定を調整 スライドショーの環境設定を調整します。次の画像を表示するまでの時間を[所要時間]で指定します。スライドショーに適用するエフェクトを[エフェクト]から指定します。[フェード]を選択すると、画像間にフェードエフェクトが追加されます。[モーション]を選択すると、各画像がパン&ズームで移動します。
B			右回転 画像を右に90度回転します。
C			ズーム スライダー 画像を拡大、縮小します。
D		P	前へ フォルダーまたはスライドショーの前の画像に戻ります。

	アイコン	ボタン	ホットキー	説明
E		再生 / 一時停止	Enter/ スペースバー	スライドショーを再生 / 一時停止します。
F		ミュート	Q	音楽の音量を消します。
G		3D を有効にする *		3D を有効にします。詳細は、58 ページの「3D 再生」を参照してください。
H		フルスクリーン	F5	フルスクリーン モードを切り替えます。
I		3D ディスプレイの設定 *		3D ディスプレイおよび再生の設定を行います。詳細は、60 ページの「3D ディスプレイの設定」を参照してください。
J		音量調整	+/-	音楽の音量を調節します。
K		次へ	N	フォルダーまたはスライドショーの次の画像に移動します。
L		停止	S	スライドショーの再生を停止します。
M		拡大		画像を拡大表示します。
N		縮小		画像を縮小表示します。
O		左回転		画像を左に 90 度回転します。

音楽タブのコントロール

[音楽] タブで音楽を再生中に、再生コントロールは次のように表示されます。



アイコン	ボタン	ホットキー	説明
A	ナビゲーション スライダー		再生経過時間を表示します。スライダーをクリックすると、曲の他のシーン（時間）に移動します。
B	 メディア再生メニュー		再生中にこのボタンをクリックすると、メディア再生メニューにアクセスします。詳細は、40 ページの「メディア再生メニュー」を参照してください。
C	 リピート	Ctrl+R	フォルダー / プレイリスト中の 1 曲またはすべての曲をリピート再生します。
D	 停止	S	音楽の再生を停止します。
E	 次へ	N	フォルダー、プレイリスト、ディスクの次の曲に移動します。
F	音量調整	+,-	音楽の音量を調節します。

アイコン	ボタン	ホット キー	説明
G 	TrueTheater を有効にする		TrueTheater オーディオ エフェクトのコントロールにアクセスします。詳細は、57 ページの「TrueTheater オーディオ エフェクト」を参照してください。
H 	ミュート	Q	音楽の音量を消します。
I 	再生 / 一時停止	Enter/ スペース バー	音楽を再生 / 一時停止します。
J 	前へ	P	フォルダー、プレイリスト、ディスクの前の曲に戻ります。
K 	シャッフル	V	フォルダー、プレイリスト、ディスク中の音楽をランダムに再生します。
L	音楽情報		再生中の音楽のアルバムアートおよび情報を表示します。

メディア再生メニュー

メディア再生メニューから様々な便利な機能にアクセスできます (再生中のメディアによってアクセス内容は異なります)。

注：メディア再生メニューは、フォト スライドショー、VCD または SVCD の再生中は利用することができません。

DVD 再生メニュー

CyberLink PowerDVD で DVD を再生中に、**DVD** メニューを選択すると次の機能にアクセスできます。

- **メニュー選択**:表示可能なディスク メニューにアクセスします。
- **続きから再生**:直前のシーンに戻ります。ディスク メニューを表示するために再生を停止した場合、このメニューを押すと元のシーンに戻ります。
- **音声言語**:再生する音声言語を選択します。再生可能な言語は、ディスク タイトルにより異なります。
- **字幕(主)**:デフォルトの字幕を選択します。通常、字幕(主)は画面の下部に表示されます。
- **字幕(副)**:デフォルトの字幕(主)と同時に表示する字幕を選択します。通常、字幕(副)は画面の上部に表示されます。
- **画面アングル**:一部のディスク タイトルで使用できます。このオプションを選択すると、カメラのアングルを切り換えることができます。
- **クローズド キャプション**:クローズド キャプションは、聴覚障害者向けの機能です(一部のディスク タイトルに対応)。クローズド キャプションは、動画コンテンツ上に文字で表示されます。オープン キャプションとは異なり、ビデオ信号では表示されず、特殊なデコーダーが必要です。
- **チャプタービューアー**:ディスク タイトルのチャプターサムネイルにアクセスします。詳細は、70 ページの「チャプタービューアー」を参照してください。
- **コメント**:ムービーに関するコメントを追加して、リアルタイムに Facebook、Twitter、MovieLive で共有します。詳細は、61 ページの「コメント」を参照してください。
- **ムービー情報**:再生中のムービーの詳細情報やレビューにアクセスします。詳細は、77 ページの「ムービー情報」を参照してください。
- **ムービーコレクション**:ムービーコレクションにアクセスします。詳細は、80 ページの「ムービーコレクション」を参照してください。

ブルーレイ ディスクの再生メニュー

CyberLink PowerDVD でブルーレイ ディスク*を再生中に、**Blu-ray** メニューを選択すると次の機能にアクセスできます。

注：* この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

- ・ **メニュー選択**: 表示可能なディスク メニューにアクセスします。
- ・ **続きから再生**: 直前のシーンに戻ります。ディスク メニューを表示するために再生を停止した場合、このメニューを押すと元のシーンに戻ります。
- ・ **静止 オフ**: 再生を一時停止した時に選択すると、再生を再開します。
- ・ **PiP ビデオ**: 追加コンテンツを含む PiP (ピクチャー インピクチャー) ウィンドウを有効にします (一部のブルーレイ ディスク タイトルで利用可能)。
- ・ **音声言語**: 再生する音声言語を選択します。再生可能な言語は、ディスク タイトルにより異なります。
- ・ **PiP 音声言語**: PiP ビデオを再生中に、[PiP 音声言語] リストから PiP ビデオの言語を選択します。
- ・ **字幕 (主)**: デフォルトの字幕を選択します。通常、字幕 (主) は画面の下部に表示されます。
- ・ **画面アングル**: 一部のディスク タイトルで使用できます。このオプションを選択すると、カメラのアングルを切り換えることができます。
- ・ **クローズド キャプション**: クローズド キャプションは、聴覚障害者向けの機能です (一部のディスク タイトルに対応)。クローズド キャプションは、動画コンテンツ上に文字で表示されます。オープン キャプションとは異なり、ビデオ信号では表示されず、特殊なデコーダーが必要です。
- ・ **コメント**: ムービーに関するコメントを追加して、リアルタイムに Facebook、Twitter、MovieLive で共有します。詳細は、61 ページの「コメント」を参照してください。
- ・ **ムービー情報**: 再生中のムービーの詳細情報やレビューにアクセスします。詳細は、77 ページの「ムービー情報」を参照してください。
- ・ **ムービー コレクション**: ムービー コレクションにアクセスします。詳細は、80 ページの「ムービー コレクション」を参照してください。

動画再生メニュー

CyberLink PowerDVD で動画を再生中に、**Video** メニューを選択すると次の機能にアクセスできます。

- **音声言語** : 再生する音声言語を選択します。再生可能な言語は、ディスク タイトルにより異なります。
- **字幕 (主)** : デフォルトの字幕を選択します。通常、字幕 (主) は画面の下部に表示されます。動画ファイルの字幕に関する詳細は、75 ページの「外部字幕を読み込む」を参照してください。
- **画面アングル** : 一部の DVD フォルダーで使用できます。このオプションを選択すると、カメラのアングルを切り換えることができます。

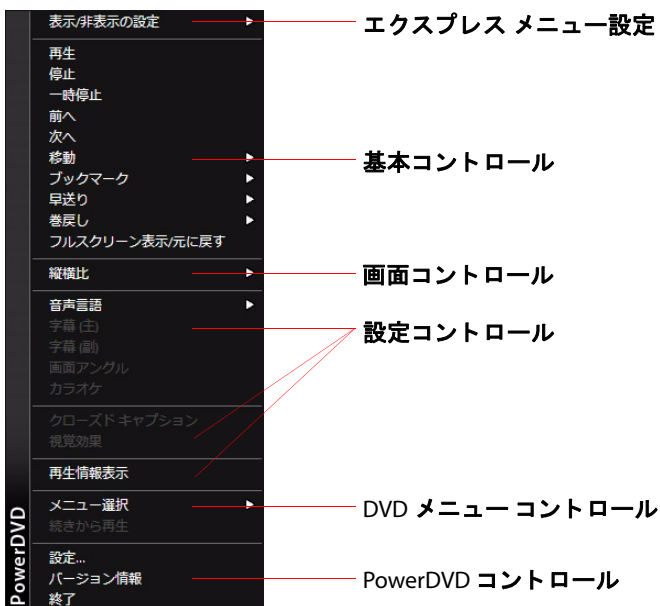
注 : WTV ファイルの再生中は、これらの動画再生メニュー オプションはご利用いただけません。ただし、WTV の再生中に、好みのビデオ / オーディオ ストリームや、字幕を選択することはできます。

音楽再生メニュー

CyberLink PowerDVD で音楽ファイルまたはオーディオ CD を再生中に、**Music** メニューを選択するとイコライザー設定にアクセスできます。選択する音声設定は、再生中の音声の種類または音楽のジャンルによって異なります。

エクスプレス メニュー

コンテンツの再生中に、エクスプレス メニューから、CyberLink PowerDVD のコントロールや再生機能にアクセスできます。エクスプレス メニューにアクセスするには、動画コンテンツ ウィンドウを右クリックします。



注：エクスプレス メニューに表示される機能は、再生中のメディアの種類、および特定のメディア（ディスク タイトル、動画ファイルなど）の機能によって異なります。

エクスプレス メニューはいくつかのセクションに分かれています。これらについて説明します。

エクスプレスメニューの設定

[表示 / 非表示の設定] から、エクスプレスメニューに表示するコントロールを選択します。特定のコントロールを非表示にするには、一覧からチェックを外します。

基本コントロール

[基本コントロール] は、ムービーおよび動画を再生中に、基本コントロール、移動メニュー、ブックマーク等にアクセスするコントロールです。

再生コントロール

CyberLink PowerDVD の再生コントロール (再生、停止、一時停止など) が表示されます。

移動

[移動] オプションから、再生可能なタイトルのチャプターを選択します。チェックマークが付いているものは、現在再生中のタイトルで、タイトルの右矢印にマウスカーソルを移動するとチャプターが表示されます。チャプターへのアクセスには、[ブラウザー] または [チャプタービューアー] ウィンドウを使用することもできます。

ブックマーク

[ブックマーク] オプションを使うと、[ブックマークビューアー] またはブラウザーで、ブックマークを追加したり、ブックマークを追加したシーンに移動したりできます。これらの機能の詳細については、62 ページの「ブックマークの機能」または 50 ページの「ブラウザー」を参照してください。

フルスクリーン

[フルスクリーン表示] を選択すると、フルスクリーンモードに切り換わります。

画面コントロール

[画面コントロール] は、再生中のメディアコンテンツの縦横比などを調整するコントロールです。

縦横比

[縦横比] オプションでは、TrueTheater Stretch、デジタルズーム、Pan & Scan などの機能にアクセスできます。

縦横比を維持

[**縦横比を維持**] オプションを選択すると、動画コンテンツとウィンドウの縦横比が保たれ、必要に応じてレターボックスが追加されます。

画面に合わせてストレッチ

[**画面に合わせてストレッチ**] では、ムービーをストレッチしてウィンドウのサイズに合わせます。

TrueTheater Stretch*

[TrueTheater Stretch] 機能は、フルスクリーンモードでのみ使用できます。ワイドスクリーンの縦横比のDVDに適しています(例: 4:3 モニターで 16:9 が最適)。この機能では CyberLink 独自の Pano Vision ビデオテクノロジーを使用してムービーをストレッチし、モニターのサイズに合わせます。

注: * この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

利用可能な TrueTheater Stretch モードは次の通りです。

- **スマートストレッチ**: 画像の中央はそのまま、端をわずかにクロップ & ストレッチします。
- **フィットスクリーン**: 画像の中央はそのまま、端をわずかにストレッチします。
- **スマート 2.35:1 2.35:1 縦横比**のディスクを再生する場合、ワイドスクリーン (16:9 または 16:10) のディスプレイスペースに最大に表示します。
- **カスタムストレッチ**: [**縦横比**] タブで設定したカスタムの縦横比を適用します。カスタムの縦横比作成に関する詳細は、96 ページの「縦横比」を参照してください。

Pan & Scan

[Pan & Scan] では、ディスクコンテンツの中央部分を表示し、表示エリアをドラッグすることで動画の全範囲を表示します。この機能は、フルスクリーンモード、および 2.35:1 か 1.85:1 のディスクタイトルでのみ利用できます (4:3 モニターでのワイドスクリーンコンテンツが最適)。この機能を使用する場合は、ディスクタイトルの縦横比を確認してください。

Pan & Scan 機能では、レターボックスなしにコンテンツが表示されますが、映像の一部が表示されなくなります。Pan & Scan のデフォルト位置は中央に設定されていますが、画面を左右にドラッグして移動させることができます。

デジタルズーム

[**デジタルズーム**]は、エクスプレスメニューからのみアクセス可能です。デジタルズーム機能を使うと、お好みのシーンを拡大表示することができます。

注：デジタルズームはフルスクリーンモードでのみ使用できます。

1. 右クリックでエクスプレスメニューを表示し、[**縦横比**] > [**デジタルズーム**] > (4X) または (9X) を選択します。
2. 画面をクリック&ドラッグして、拡大画面を移動します。画面の左上隅に、拡大表示されているエリア(緑の枠線)が、標準のスクリーンモード(白の枠線)の中に表示されます。
3. フルスクリーンモードに戻るには、エクスプレスメニュー(右クリック)に戻り、[**縦横比**] > [**縦横比を維持**]を選択するか、他の縦横比を選択します。

設定コントロール

[**設定コントロール**]は、音声言語、字幕、画面アングルなどの機能にアクセスできるコントロールです。

音声言語

[**音声言語**]メニューから、再生する音声言語を選択します。再生可能な言語は、ディスクタイトルにより異なります。

字幕

[**字幕(主)**]で、デフォルトの字幕を選択します。通常、字幕(主)は画面の下部に表示されます。

[**字幕(副)**]では、デフォルトの字幕と同時に、副字幕が必要な場合に選択します。通常、字幕(副)は画面の上部に表示されます。

画面アングル

一部のディスクタイトルで使用できます。このオプションを選択すると、カメラのアングルを切り換えることができます。

カラオケ

[カラオケ]オプションは、カラオケ ディスクの再生時に使用できます。詳細は、27 ページの「カラオケ ディスクを再生する」を参照してください。

クローズド キャプション

クローズド キャプションは、聴覚障害者向けの機能です (一部のディスク タイトルに対応)。クローズド キャプションは、動画コンテンツ上に文字で表示されます。オープン キャプションとは異なり、ビデオ信号では表示されず、特殊なデコーダーが必要です。

再生情報表示

[再生情報表示]を有効にすると、可変ビデオ ビットレートや、Dolby Digital 5.1、Dolby Digital 2.0、DTS 5.1 といった音声形式、オーディオ ビットレートが OSD (オン スクリーン ディスプレイ) 上に表示されます。また、経過時間、残り時間、チャプター、タイトルの情報も表示されます。

ブルーレイ ディスク設定コントロール

ブルーレイ ディスク タイトル*を再生する場合、エクスプレス メニューでは次の追加設定機能が使えます。

注：* この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

PiP ビデオ

追加コンテンツを含む PiP (ピクチャー イン ピクチャー) ウィンドウを有効にします (一部のブルーレイ ディスク タイトルで利用可能)。

PiP 音声言語

一覧から、PiP ビデオの言語を選択します。

字幕 (主)

PiP ビデオを表示する場合、字幕 (主) に PiP ビデオ用の追加字幕が表示される場合もあります (言語の横に、「PiP から」と表示)。PiP の字幕を選択すると、字幕はメインの映像に表示されます。

注 : PiP ビデオが終了または閉じられた場合、最初に選択された字幕 (主) に戻ります。

静止 オフ

再生を一時停止した時に選択すると、再生を再開します。

DVD メニュー コントロール

DVD タイトルを再生する場合、エクスプレス メニューでは次のメニュー コントロールが使えます。

メニューの選択

[**メニュー選択**] オプションを使うと、表示可能なメニューに移動します。詳細は、71 ページの「メニューにアクセスする」を参照してください。

続きから再生

[**続きから再生**] を選択すると、直前のシーンに戻ります。ディスク メニューを表示するために再生を停止した場合、このメニューを押すと元のシーンに戻ります。

PowerDVD コントロール

エクスプレス メニューから、設定ウィンドウおよび次のコントロールにもアクセスできます。

設定

[**設定**] ウィンドウを表示します。詳細は、83 ページの「設定」を参照してください。

アクティブ化

お使いの CyberLink PowerDVD のアクティブ化 (登録) やアップグレードが行えます。

バージョン情報



お使いの CyberLink PowerDVD のバージョン情報を表示します。

終了

CyberLink PowerDVD のプログラムを終了します。

再生メニュー

再生メニューには、チャプターのショートカットがあり、ムービー ディスクの再生中に、ブラウザーとチャプタービューアーにもアクセスできます。

1. 再生メニューにアクセスするには、再生コントロールの  か  ボタンを右クリックします。チェックが付いたものは、現在再生中のチャプターです。
2. 再生するチャプターを選択して、移動します。

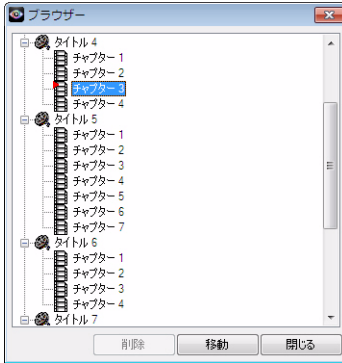
注：[ブラウザー]または[チャプタービューアー]ウィンドウを選択することもできます。

ブラウザー

[ブラウザー]からは、再生可能なタイトル、チャプター、追加済みのブックマークが選択できます。

注：[ブラウザー]には、[エクスプレス メニュー]の[移動]オプションや[ブックマーク]オプションからもアクセスできます。

1. 再生メニューから[ブラウザー]を選択すると、[ブラウザー]ウィンドウが開き、タイトル、チャプター、ブックマークを表示します。赤いポイントが付いたものは、現在再生中のチャプターです。



2. チャプターまたはブックマークを選択し、[移動]をクリックして再生を開始します。

チャプタービューアー

[チャプタービューアー]オプションを選択して、チャプタービューアー中のチャプターサムネイルを表示します。詳細は、70 ページの「チャプタービューアー」を参照してください。

注：[チャプタービューアー]には、[エクスプレスメニュー]の[移動]オプションや[ブックマーク]オプションからもアクセスできます。

PowerDVD Remote

PowerDVD Remote がインストールされている Android デバイスまたは iPhone を使って、CyberLink PowerDVD 11 がインストールされているコンピューター中のメディアをリモート操作 * することができます。PowerDVD Remote を使って、CyberLink PowerDVD に接続されたデバイス中のメディアを再生することもできます。

注：* この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

デバイスをセットアップする

ポータブル デバイスを使ってメディアをリモート操作する前に、次の操作を行います。

- CyberLink PowerDVD 11 がインストールされるコンピューターをワイヤレス ネットワークに接続します。
- Android デバイスまたは iPhone を同じワイヤレス ネットワークに接続します。
- オンライン ストア (Android App Market、iPhone App Store) から、PowerDVD Remote アプリ (無料) をダウンロードします。
- PowerDVD Remote アプリをポータブル デバイスにインストールします。
- ワイヤレス ネットワークに接続されたコンピューターで、[**デバイス**] タブ をクリックします。CyberLink PowerDVD で PowerDVD Remote を実行するデバイスをコントロールするには、このタブに記載される **パスコード** をデバイスに入力する必要があります。

注：[**変更**] をクリックすると、新しい **パスコード** が生成されます。

PowerDVD Remote でメディアを再生する

ポータブル デバイスをワイヤレス ネットワークに接続し、PowerDVD Remote をインストールしたら、ネットワークのサーバーまたはデバイス中のメディアをコントロールできるようになります。

PowerDVD Remote でメディアの再生をリモート操作するには、次の操作を行います。

1. メディアを再生するコンピューターから CyberLink PowerDVD を起動します。
2. ポータブル デバイスの PowerDVD Remote アプリを起動します。PowerDVD Remote は、ネットワークに接続されたすべてのメディア サーバーを検出します。
3. リスト (CyberLink PowerDVD を起動するコンピューターの名称) から接続するサーバーを選択します。

4. 必要に応じて、メディア サーバーにアクセスする 4 桁のパスワードを入力します。PowerDVD Remote の [**モジュール**] ウィンドウが表示されます。
5. PowerDVD Remote の [**モジュール**] ウィンドウでは、次の操作を行うことができます。
 - [**ムービー**] を選択すると、CyberLink PowerDVD の [**ムービー**] タブのムービー ディスクにアクセス、再生します。
 - [**動画**] を選択すると、CyberLink PowerDVD の [**動画**] タブの動画ファイルにアクセス、再生します。
 - [**画像**] を選択すると、CyberLink PowerDVD の [**画像**] タブの画像にアクセス、表示します。
 - [**音楽**] を選択すると、CyberLink PowerDVD の [**音楽**] タブの音楽にアクセス、再生します。
 - [**デバイス**] を選択すると、使用するデバイス中のメディアにアクセス、再生します。サーバーに他のポータブル デバイスが接続されている場合でも、そのデバイスおよび使用中のデバイスにアクセスすることができます。CyberLink PowerDVD の [**デバイス**] タブから再生をコントロールします。

注：PowerDVD Remote でメディアをリモート再生する場合、再生中のメディア種類によって、再生コントロールの表示形式は異なります。各メディアを再生中に利用可能なコントロールおよび再生機能は、32 ページの「再生コントロール」を参照してください。

6. PowerDVD Remote 画面下の [**マウスパッド**] タブを選択して、マウスパッドにアクセス、使用します。ポータブル デバイスのタッチ パネルを指でドラッグすると、CyberLink PowerDVD を起動するコンピューターのマウス動作に反映されます。画面をダブル タップすると、選択したメディアの再生を開始します。


注：[**マウスパッド**] には、通常のマウスと同様のオプションがあります。CyberLink PowerDVD のボタン、タブ、またはプログラム中のメディア ファイルを選択したり、右のスクロールバーを使って、ウィンドウのメディアをスクロールしたりすることができます。

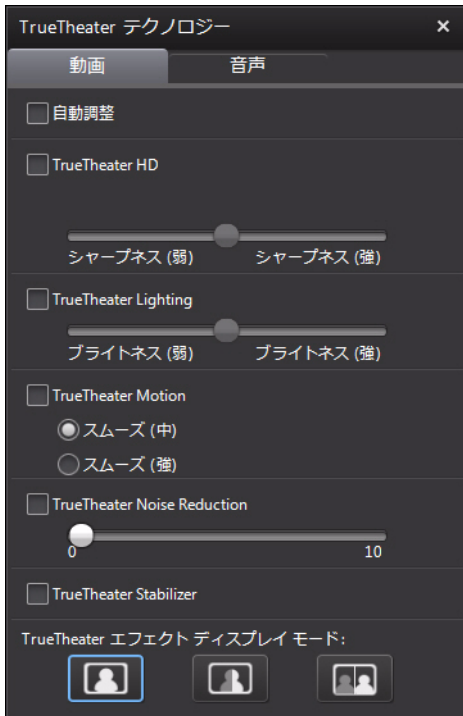
7. PowerDVD Remote の [再生コントロール] タブを選択して、選択したメディアの再生をコントロールします。[ムービー] タブでディスクを再生中に、[DVD/BD] オプションをタップして、他のコントロール(チャプタービューアー、ディスクメニュー、字幕、言語など)を表示します。

再生機能

CyberLink PowerDVD には、ムービーをさらに高品質で視聴可能な様々な再生機能を搭載しています。

TrueTheater エフェクト

 ボタンをクリックして、TrueTheater エフェクト * ウィンドウを表示します。



注：* この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

TrueTheater エフェクトは、メディアを最高品質で再生するための CyberLink 独自の映像・音声技術です。

注：TrueTheater ビデオ エフェクトは、ブルーレイ ディスク タイトルを再生中、およびハードウェア アクセラレーションを有効にしている場合は使用できません。

TrueTheater ビデオ エフェクト

DVD および 動画ファイルを再生中に、TrueTheater ビデオ エフェクトを有効にすると、最高画質で動画を再生することができます。

注：TrueTheater ビデオ エフェクトは、一部の動画ファイル形式には適用できません。

- **自動調整**: DVD および動画を再生中に、すべての TrueTheater エフェクトを自動的に適用します。CPU 使用率およびモバイル電源設定 (ノートブック / ラップトップのみ) に応じて、TrueTheater HD および Motion の値を調整 (オンまたはオフ) します。
- TrueTheater HD: 元の動画をより高い解像度 (よりシャープ、ノイズなし) にアップスケールします。TrueTheater HD は、480p から 1080p までブースト可能です。スライダーを使ってシャープを最適に調節します。

注：コンピューターが NVIDIA CUDA/AMD Accelerated Parallel Processing 対応の場合は、[NVIDIA CUDA/AMD Accelerated Parallel Processing **を有効にする**] を選択すると、GPU アクセラレーションを使って、よりスムーズに再生するよう動画をデコードします (TrueTheater HD が有効になっている場合)。

- TrueTheater Lighting (CyberLink Eagle Vision2): CyberLink 独自の映像技術で、動画コンテンツの明るさ、コントラスト、彩度を調整します。これにより、非常に暗いシーンから明るいシーンまで幅広い映像が入った動画を再生する際にも、色の設定を変更する必要はなくなります。スライダーを使って、TrueTheater Lighting をお好みのレベルに調整します。
- TrueTheater Motion: フレーム レートを 24 fps から 60 fps にアップサンプリングし、アクション ムービー等の動きをさらにスムーズに再生します。[**スムーズ (中)**] を選ぶと、フレーム レートは、元のムービー コンテンツの二倍になります。[**スムーズ (強)**] を選ぶと、ディスプレイの出力フレーム

レートによって、動画コンテンツを每秒 60 か 72 フレームのフレームレートまで改善します。

- TrueTheater Noise Reduction: ホームビデオファイルのビデオノイズ (High-ISO およびテレビ信号のノイズを含む) を低減します。スライダーを使って、映像のノイズリダクションレベルを調整します。

注: この機能は、ディスクの再生時にはご利用いただけません。




- TrueTheater Stabilizer: 手ぶれのあるホームビデオファイルに動き補償 (モーションコンペンセーション) を適用します。三脚を使わずに撮影されたものや動きながら撮影された動画ファイルに適しています。

注: この機能は、ディスクの再生時にはご利用いただけません。

TrueTheater エフェクト ディスプレイ モード


TrueTheater エフェクト ディスプレイ モード オプションは、TrueTheater エフェクトを有効にしている場合に使用可能で、再生中に表示されるビデオエフェクトの形式を選択することができます。

次のディスプレイモードから選択できます。

- : 全体の映像に TrueTheater エフェクトが適用されます (通常モード)。
- : 左半分には元の映像が、右半分には TrueTheater エフェクトが適用され、両方を比較することができます (分割モード)。
- : 左半分には元の全体映像が、右半分には TrueTheater エフェクトが適用された同一の映像をプレビューします (比較モード)。

TrueTheater オーディオ エフェクト

すべてのディスク種類、動画、音楽を再生中に、TrueTheater オーディオエフェクトを有効にすると、最高音質で音声を再生することができます。

TrueTheater オーディオエフェクトを表示するには、 をクリックして、[音声] タブをクリックします。

TrueTheater オーディオエフェクトを適用するには、次の操作を行います。

1. 使用環境に合った設定を[**スピーカー環境**]のドロップダウンから選択します。各オプションの詳細は、88 ページの「音声の設定」の「**スピーカー環境**」セクションを参照してください。

注：スピーカー環境として [S/PDIF] または [HDMI] を選択した場合は、TrueTheater オーディオ エフェクトは無効になります。

2. [TrueTheater Surround] オプションを選択すると、[**出力モード**] または音声信号での特殊処理として、TrueTheater Surround オーディオ エフェクトが使用されます。
3. 選択したスピーカー環境によって、音声詳細は異なります。音声詳細オプション設定に関する詳細は、92 ページの「音声の詳細設定」または関連するセクションを参照してください。例えば、スピーカー環境がヘッドフォンの場合は、TrueTheater Surround (Headphone モード) を参照してください。

3D 再生

3D* ブルーレイ ディスク*、DVD、動画ファイルの再生および、JPS、MPO、サイドバイサイド 3D 画像の 3D 表示に対応しています。TrueTheater 3D* を使って 2D DVD ムービー、動画ファイル、画像を 3D に変換することもできます。

注：CyberLink PowerDVD を使って、2D ブルーレイ ディスクを 3D に変換することはできません。

3D 再生時の注意：3D 動画を見ているときに頭痛、眩暈、吐き気、目がぼやける、その他の症状を感じた場合は、直ちに動画鑑賞を止め、医者 の指示を仰ぐようお勧めします。

注：* この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

CyberLink PowerDVD を初めて起動すると、3D ディスプレイを設定するかどうか表示されます。設定するには[**はい**] ボタンをクリックし、[**ディスプレイ**]

タブを選択します。[**自動検出**]を選択すると、デバイスが自動的に検出されます。2 番目のオプション ボタンを選択して、ディスプレイを手動で選択することもできます。

注：互換性のある 3D ディスプレイを接続していない場合は、[**アナグリフ赤青モード**]を選択し、3D オプションを有効にすると、アナグリフ (赤青) 3D メガネを使って 3D コンテンツを見ることができます。

初回の起動で 3D ディスプレイの設定を行わなかった場合は、その後 [3D ディスプレイの設定] ウィンドウから行うことができます。詳細は、60 ページの「3D ディスプレイの設定」を参照してください。

注：3D の再生中は、一部の機能が無効になります。


3D 再生を有効にする


3D** ブルーレイ ディスクまたは DVD を挿入、または 3D 映像ファイルを再生すると、自動的に 3D で再生されます (3D モードが有効になっている場合)。



注：** 3D ブルーレイ ディスク再生対応の CyberLink PowerDVD のバージョンでは、設定で再生を有効にする必要があります。有効化に関する詳細については、100 ページの「ブルーレイ 3D」を参照してください。

TrueTheater 3D を使って 2D DVD および動画を 3D に自動的に変換することもできます (3D モードが有効になっている場合)。



注：3D 画像を表示、または 2D 画像を 3D に変換する場合は、3D 再生を手動で有効にする必要があります。

3D の再生を有効にするには、再生コントロールの  ボタンをクリックします。

注：3D モードを有効にすると、再生コントロールの 3D アイコンは  のように表示されます。

3D ディスプレイまたは再生の設定を調整するには、再生コントロールの  ボタン ( ボタンの隣) をクリックします。設定オプションについては、3D ディスプレイの設定 を参照してください。

3D ディスプレイの設定

[3D ディスプレイの設定] ウィンドウを開くには、再生コントロールの  ボタン ( ボタンの隣) をクリックします。3D 設定は次のように行います。

全般

[全般] タブでは、3D ディスプレイの設定を行います。

- **3D シーン深度** : スライダーを使って、映像の深度を調整します。
- **視覚の切り換え** : 3D コンテンツを見ると、不快感を覚える場合がありますが、これは一般的なコンテンツと 3D 映像とではレイアウトが異なるためです。3D を再生中に目の疲れを覚える場合、左右の映像を切り換えてみてください。左右それぞれの映像が切り換わり、不快感が軽減できる可能性があります。

ソース形式

3D DVD または動画ファイルの再生中に 3D コンテンツが正常に表示されない場合、[ソース形式] タブで 3D 映像形式を手動で設定します。

- **自動検出** : このオプションを選択すると、3D コンテンツの映像形式が自動的に検出されます。3D DVD、動画ファイル、画像は自動的に 3D で再生されます (3D モードが有効になっている場合)。2D DVD または動画ファイルを再生する場合は、TrueTheater 3D により 2D 映像が 3D に変換されます。
- **サイド バイ サイド形式** : 3D コンテンツに 2 つの異なる映像が左右に配置される場合は、このオプションを選択します。2 つの映像を合わせて、3D 効果を作り出します。
- **オーバー アンダー形式** : 3D コンテンツに 2 つの異なる映像が上下に配置される場合は、このオプションを選択します。2 つの映像を合わせて、3D 効果を作り出します。

- ・ **2D 形式**: 2D モードのコンテンツを CyberLink TrueTheater を使って 3D に変換する場合に、このオプションを選択します。

ディスプレイ

[**ディスプレイ**] タブでは、3D ディスプレイの設定を行います。

- ・ **自動検出**: このオプションを選択すると、3D デバイスが自動的に検出されます。3D ディスプレイを接続していない場合は、[**アナグリフ赤青モード**] で再生されます。アナグリフ 3D メガネ (赤青) を使って 3D コンテンツを視聴することができます。
- ・ 3D ディスプレイを手動で選択するには、2 番目のオプション ボタンを選択して、ドロップダウン メニューから選択します。3D ディスプレイを接続していない場合は、[**アナグリフ赤青モード**] を選択すると、アナグリフ 3D メガネ (赤青) を使って 3D コンテンツを視聴することができます。

コメント

DVD または ブルーレイ ディスク ムービーの再生中に、[一時停止] ボタンをクリックすると、再生中のムービーに関するコメント * (レビュー) を入力することができます。このコメントは、リアルタイムに Facebook、Twitter、MovieLive で共有することができます。

注 : * この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

コメントを入力および共有するには、次の操作を行います。

1. ムービーの再生中に、[一時停止] ボタンをクリックします。
2. コメントの欄に、再生中のムービーまたはシーンに関するコメントを入力します。


注 : [**コメント**] 欄には、140 文字以下の文字が入力できます。

3. [**共有**] ボタンをクリックします。
4. コメントを共有するサイトを選択して、[**共有**] をクリックします。ユーザー インターフェイスの手順に従って、各 Web サービスの共有プロセスを完了させます。


注：[一時停止時にはこのメッセージを表示しない]が選択されている場合は、メディア再生メニュー ([DVD] または [Blu-ray]) をクリックし、[コメント]を選択するとコメント欄が表示されます。

[ムービー情報] ウィンドウで、再生中のムービーのコメントをすべて表示することもできます。詳細は、77 ページの「ムービー情報」を参照してください。

ブックマークの機能

DVD および動画を再生中に  を選択すると、お気に入りのシーンをブックマークしたり、ブックマークビューアーにアクセスすることができます。


シーンにブックマークをつけるには、次の操作を行います。

1.  をクリックして、[ブックマークの追加] ボタンをクリックします。
2. [コメント] 欄にコメントを入力します。コメント欄には、シーンの説明、解説や所見を入力します。
3. [保存] または [保存&表示] をクリックして、コメントを保存、[ブックマークビューアー] で表示します。

ブックマークビューアー

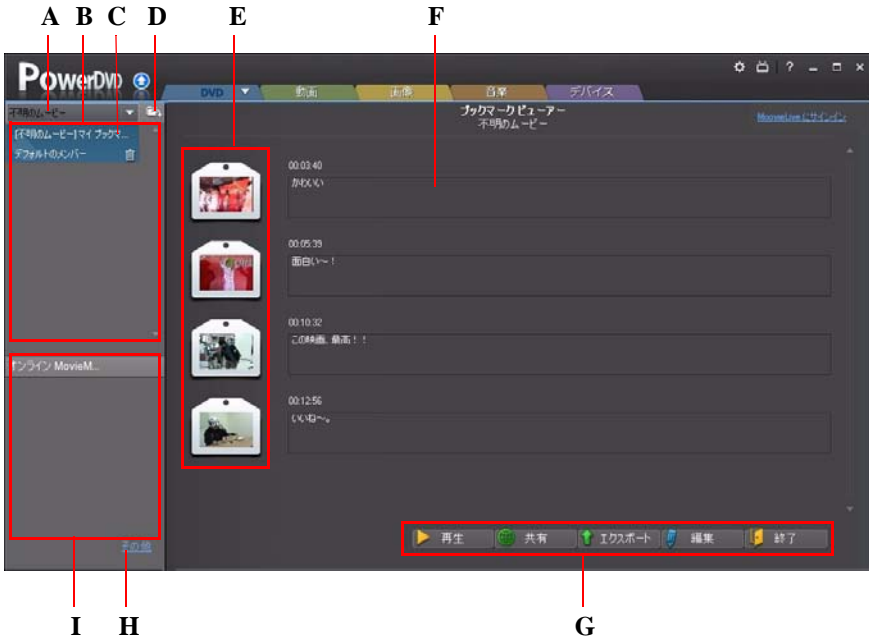
ブックマークビューアーでは、再生中の DVD または動画にブックマークした全シーンおよび関連するコメントを表示、編集することができます。

MoovieLive や Facebook に DVD のブックマークをエクスポート、共有したり、他のユーザーが作成したブックマークをダウンロード、インポートすることもできます。


ブックマークビューアーを開くには、 をクリックして、[ブックマークビューアー] を選択します。

注：DVD に複数のブックマークを作成した場合は、MovieMark としてムービーコレクションに保存されます。詳細は、79 ページの「MovieMark」を参照してください。

DVD を再生中に [ブックマーク ビューアー] を開くと、次のように表示されます。




A - DVD ブックマーク、B - MovieMark 数、C - ムービーの選択、D - MovieMark のインポート、E - ブックマーク、F- ブックマークのコメント、G- ブックマーク機能、H - MoovieLive から他の MovieMark を表示、I - MoovieLive の MovieMark



[DVD] タブからは、再生中の DVD のすべての MovieMark を表示することができます。動画のブックマークを開くには、 をクリックして、[ブックマーク ビューアー] を選択します。

[ブックマーク ビューアー] では、次のタスクを実行することができます。

注：動画のブックマークでは、一部のタスクはご利用いただけません。


- 必要に応じて、一覧から別のムービーを選択して、そのムービーのブックマークを表示します。ブックマークしたムービーのシーンを表示するには、そのムービーの DVD が挿入されている必要があります。
- ブックマークのリスト表示から MovieMark を選択して、それに含まれるブックマークをすべて表示します。
- オンライン MovieMark リスト表示の [ダウンロード] をクリックして、この DVD の他の MovieMark を MoovieLive からダウンロードします。
- [その他] のリンクをクリックして、MoovieLive.com に移動し、この DVD の他の MovieMark を表示、ダウンロードします。
-  をクリックすると、ダウンロードした MovieMark が [ブックマークビューアー] にインポートされます。
- メイン ウィンドウで特定のブックマークをダブルクリックすると、そのブックマークと関連するコメントが表示されます。
- [再生] ボタンをクリックすると、現在の MovieMark 中のブックマークが順番にすべて再生されます。
- [共有]* をクリックすると、すべてのブックマークが MoovieLive および Facebook に MovieMark としてまとめてアップロードされます。

注：* この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

- [エクスポート] をクリックすると、ハードドライブに MovieMark ファイルとしてブックマークが保存されます。BMK 形式で保存され、別のコンピュータにインポートしたり、友達にメールで送信したりすることができます。
- [編集] をクリックして、既存のブックマークのコメントを編集します。[保存] をクリックして変更内容を保存するか、[キャンセル] をクリックして変更内容を破棄します。
- [終了] をクリックすると、[ブックマークビューアー] が閉じ、DVD または動画に戻ります。
- 特定のブックマークを削除するには、[編集] ボタンをクリックして、ブックマーク横の  ボタンをクリックします。
- リスト表示から MovieMark を削除するには、その MovieMark を選択して  をクリックします。



ブックマークを再生する

ブックマークを再生すると、ブックマークした位置から再生され、映像の下にコメントが表示されます。

ムービー/動画はブックマークした位置から再生が始まります。別のブックマークを表示するには、右のサイドバーから1つ選択します。ブックマークビューアーおよびコメントを非表示にする場合は[終了]をクリックします。コメントのみを非表示にする場合は  をクリックします。

拡張機能

[拡張機能]ウィンドウでは、See-It-All、スナップショット、アングルの切り換えなどの詳細機能にアクセスできます。

[拡張機能] ウィンドウを表示するには、 をクリックします。また、 をクリックすると詳細ボタンが表示されます。






	ボタン / アイコン	ホット キー	説明
A	ナビゲーション ボタン	上 / 下 / 左 / 右 矢印	ディスク メニューを操作します。
B	OK	入力	選択したオプションを確定します。
C		F9 (赤)、F10 (緑)、F11 (黄)、F12 (青)	リモコンの同色のボタンに対応しています。ブルーレイ ディスクの再生時のみ表示されます。

	ボタン / アイコン	ホット キー	説明
D	2 点間リピート	X	選択したシーンをリピートします。詳細は、68 ページの「2 点間リピート」を参照してください。
E	Say-It-Again	W	直前の会話を繰り返します。詳細は、68 ページの「Say-It-Again」を参照してください。
F	フレームのキャプチャー (スナップショット)	C	動画コンテンツを画像ファイルとしてキャプチャーします。(ブルーレイ ディスクには対応していません。) 詳細は、68 ページの「お気に入りのシーンのフレームをキャプチャーする (スナップショット)」を参照してください。
G	アングル切り換え	A	アングルを切り換えます (切り換え可能な場合)。詳細は、70 ページの「アングル切り換え」を参照してください。
H	拡張 / 折りたたむ		表示、非表示を選んで、ウィンドウを拡張・折りたたみます。
I	1 - +10	0-9、+10 は *	ナンバー パッドです。
J	See-It-All	Ctrl+S	See-It-All 機能を有効化します。詳細は、70 ページの「See-It-All」を参照してください。
K	カラオケ	K	カラオケ モードを切り換えます。詳細は、27 ページの「カラオケ ディスクを再生する」を参照してください。

2 点間リピート

2 点間リピート機能を使うと、ムービーの好きな部分を繰り返し再生できます。リピート再生の始点と終点が設定できます。現在の会話部分のみがリピートされる Say It Again 機能とは、この点が異なります。



2 点間リピートを実行するには、次の操作を行います。

1. 再生中に、リピートしたいシーンの先頭で  ボタンを押して始点を設定します。
2. 再度  をクリックして終点を設定します。設定したシーンが繰り返し連続再生されます。
3. 2 点間リピートを止めるには、 ボタンをクリックするか、リピートシーンから移動します (ナビゲーションスライダーで次または前のチャプターへ移動)。

注：この機能は、ブルーレイディスクの Java (BD-J) には対応していません。

Say-It-Again

Say-It-Again 機能を使うと、再生中の会話を繰り返すことができます。Say-It-Again 機能を実行するには、次の操作を行います。

1. 繰り返し再生したい会話シーンで  をクリックします。
2. オフにするには、もう一度  をクリックします。

お気に入りのシーンのフレームをキャプチャーする (スナップショット)

CyberLink PowerDVD では、DVD の再生中に、お気に入りのシーンから個々のフレームをキャプチャーできます。




注：この機能は、ブルーレイディスクおよび 3D モード (DVD) の再生時には、無効になります。

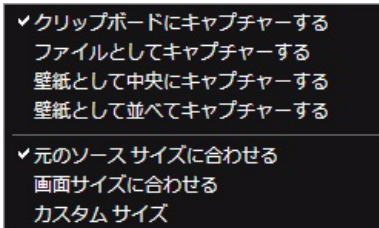
キャプチャーオプション (スナップショット) を設定する

フレームのキャプチャーを行う前に、キャプチャーのタイプとサイズを選択します。

注：キャプチャーの形式やカスタム サイズなどのキャプチャー オプションは、[PowerDVD の設定]の[プレーヤー]から設定できます。詳細は、84 ページの「キャプチャー」を参照してください。

キャプチャー オプションを設定するには、次の操作を行います。


1. コンテンツの再生中に、再生コントロールの  ボタンをクリックし、 をクリックしてすべてのオプションを表示します。
2.  ボタンを右クリックして、キャプチャー オプションを表示します。




3. キャプチャー オプションを次のように設定します。
 - **クリップボードにキャプチャーする**: 画像をクリップボードにキャプチャーし、その後に別のプログラムに手で貼り付ける場合に、このオプションを選択します。
 - **ファイルとしてキャプチャーする**: 画像をファイルとしてキャプチャーし、コンピューターのフォルダーに保存する場合に、このオプションを選択します。キャプチャー フォルダーを設定するには、84 ページの「キャプチャー」を参照してください。
 - **壁紙として中央にキャプチャーする**: キャプチャー画像をコンピューターの壁紙として中央に表示する場合に、このオプションを選択します。
 - **壁紙として並べてキャプチャーする**: キャプチャーした画像をコンピューターのデスクトップの壁紙として並べて表示する場合に、このオプションを選択します。
4. キャプチャーサイズを次のように設定します。
 - **元のソース サイズに合わせる**: 元の動画サイズ (720X480 や 720X576 など) で画像をキャプチャーする場合に、このオプションを選択します。

- **画面サイズに合わせる** : キャプチャー画像を現在の画面サイズに合わせて保存する場合に、このオプションを選択します。
- **カスタムサイズ** : [設定] ウィンドウの [キャプチャー] タブで設定したカスタムサイズで画像をキャプチャーする場合に、このオプションを選択します。

画像をキャプチャーする (スナップショット)

1. 再生中に、 ボタンをクリックするか、キーボードの [C] キーを押して、現在の動画コンテンツのフレームをキャプチャーします。
2. より正確にキャプチャーするには、シーンを一時停止したり、スローモーションで再生したり、コマ送りをしたりして、キャプチャーします。

アングル切り換え

アングル切り替え機能は、音楽コンサート ディスクの一部でご利用できます。再生中に  をクリックして、アングルを切り換えます。


See-It-All

See-It-All 機能を使うと、ノートパソコンのバッテリー残量とムービーの残り時間を計算し、ムービー全体が再生できるように再生スピードを調節します。



メニュー / ナンバー パッド

メニュー / ナンバー パッドには、ナビゲーション ボタン、数字入力用キーパッド、その他の機能のボタンがついています。ステレオのリモコン同様、プレイリストやオーディオ CD の再生時に、ナンバー パッドを使用して再生するトラックの番号を直接入力します。

チャプター ビューアー

チャプター ビューアーでは、DVD のチャプター サムネイルを FancyView およびグリッド ビューで表示します。 をクリックし、[チャプター ビューアー] を選択すると、チャプター ビューアーが開きます。

注 : チャプター ビューアーは、コンテンツ保護の理由により、ブルーレイ ディスクは再生できません。

- **FancyView:**  をクリックすると、FancyView でチャプター サムネイルが表示されます。キーボードの矢印キー、マウスのスクロールホイール、ノートブックのタッチパッドを使って、サムネイルをスクロールします。特定のチャプターを選択して、そのチャプターから再生を開始します。
- **グリッドビュー:**  をクリックすると、グリッドビューでチャプターサムネイルが表示されます。リモコンかマウスを使って、チャプターサムネイルをブラウズします。特定のチャプターを選択して、そのチャプターから再生を開始します。

注：チャプタービューアーを使用すると、コンピューターに全チャプターのサムネイルが保存されます。サムネイルを管理し、ディスクの空き容量を確保するには、97 ページの「DVD の設定」の「**チャプタービューアーのサムネイル**」のセクションを参照してください。

メニューにアクセスする

CyberLink PowerDVD でメディアを再生中に、タイトル、ルート、チャプター、音声の各メニューに、簡単にアクセスできます。

ブルーレイディスク* のポップアップメニューや DVD-VR ディスクのメニューにもアクセスできます。

注：* この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

市販ディスクのメニュー

CyberLink PowerDVD で市販ディスクを再生中に、プログラムの複数の場所から [**タイトルメニュー**]、[**ルートメニュー**] (特定機能向け)、[**字幕メニュー**]、[**音声メニュー**]、[**アングルメニュー**]、[**チャプターメニュー**] にアクセスできます。

注：ディスクのタイトルによっては、ルート メニュー以外のメニューにアクセスできないものもあります。この場合、ルート メニューから各設定にアクセスする必要があります。

メニュー アイテムにアクセスする方法は、次の通りです。

- 再生コントロールのメディア 再生メニュー ([DVD] または [Blu-ray]) を選択し、[メニュー選択] を選択します。表示されるディスク タイトルのメニューは、ディスクの作成方法によって異なります。
- 動画コンテンツ ウィンドウを右クリックして [エクスプレス メニュー] を表示し、[メニュー選択] を選択します。


注：再生中にディスク メニューを表示し、その後再度再生する場合は、画面を右クリックして、[続きから再生] を選択すると、直前のシーンに戻ります。

ブルーレイ ディスクのポップアップ メニュー



ブルーレイ ディスク タイトルのほとんどで、再生中にポップアップ メニューから、シーン選択や他の機能にアクセスできます。

注：この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

再生中のブルーレイ ディスク タイトルでポップアップ メニューが利用可能な場合、次のいずれかの方法でアクセスします。

- 再生中に、再生コントロールの  ボタンをクリックします。
- 再生中に、キーボードの [Ctrl+P] を押します。

ブルーレイ ディスク マウス ソリューション

一部のブルーレイ ディスク タイトルでは、マウスを使ってポップアップ メニューを操作することはできません。ブルーレイ ディスクを再生中は、再生コントロールの  をクリックして [拡張機能] を開き、 をクリックして、ナビゲーション コントロールで、ポップアップ メニューを操作します。

DVD-VR 形式でメニューを使用する

DVD-VR 動画形式のディスクでは、[プログラム セット ビューアー]からメニューにアクセスできます。

1. 再生コントロールの **DVD** をクリックします。
2. [プログラム セット ビューアー]を選択して、各タイトルやチャプターの最初のフレームを表示します。
3. タイトル / チャプターのサムネイルをクリックして再生を開始するか、[閉じる]をクリックしてビューアーを閉じます。

注: プレイリストがあれば、ここで表示することもできます。

その他の便利な機能

メディア再生中の便利な機能は、次の通りです。

その他のホット キー

CyberLink PowerDVD では、次のホット キーも利用できます。

ホット キー	説明
Ctrl+M	最後に再生したメディアを再生します。
Ctrl+D	副音声の有効化 / 無効化します。
Ctrl+G	PG textST を有効化 / 無効化します。有効化すると、BD-ROM プレーヤーは、文字の字幕ストリームまたはプレゼンテーション グラフィックスの字幕ストリームを表示します (表示可能な場合)。
Ctrl+N	CyberLink PowerDVD を最小化します。
Ctrl+P	ポップアップ メニューを表示 / 非表示します (ブルーレイ ディスク タイトルのみ)。
Ctrl+U	字幕 (副) を表示 / 非表示します。

ホット キー	説明
Ctrl+V	セカンダリービデオを有効化 / 無効化します。
Ctrl+W	動画の再生を一時停止し、メニューがアクティブである場合、再生を再開します。
Ctrl+X	CyberLink PowerDVD プログラムを終了します。
Ctrl+Y	字幕 (副) の位置を変更します。
Ctrl+Q	Dolby Headphone
F5	CyberLink PowerDVD をフル スクリーン モードに切り換えます。
F6	前のシーンに移動します (シーンの検出に CyberLink Rich Video を使用) 。
F7	コマーシャルをスキップします (コマーシャルの検出に CyberLink Rich Video を使用) 。
F8	次のシーンに移動します (シーンの検出に CyberLink Rich Video を使用) 。
D	DVD 再生の OSD (オン スクリーン ディスプレイ) の詳細を切り換えます。
J	DVD のルート メニューに移動します。

特殊キーボード用追加ホット キー

CyberLink 特殊キーボード (追加のキーが付属しているもの) 用のホット キーもあります。

ホット キー	説明
Select	選択したオプションを確定します。
Prior	5 秒前へタイム シークします。
Next	5 秒後へタイム シークします。

ホット キー	説明
--------	----

Apps	コンテキスト メニューを表示します。
------	--------------------

タイムサーチ

[タイムサーチ] 機能を使用すると、ムービー、動画、曲の特定の時間位置にジャンプできます。

タイムサーチを使用するには、次の操作を行います。

1. ナビゲーション スライダーを右クリックします。[タイムサーチ] ダイアログボックスが表示されます。



2. 時間 (時間、分、秒) を入力して、[OK] をクリックします。入力した時間から再生が始まります。

外部字幕を読み込む

動画ファイルを再生する場合、動画ファイルと同じディレクトリー内から字幕が検索されます。ファイルが見つかったら、エクスプレス メニューの [字幕] オプションに表示されます。

CyberLink PowerDVD は、SMI、ASS、SAA、PSB、SRT、SUB の字幕形式に対応しています。

注：また、ファイル名に言語識別子 (xxxx.cht.sub など) がある場合、別の言語にも対応します。


第3章：

PowerDVD ムービーの追加機能

この章では、[ムービー コレクション]中の追加機能および[ムービー情報]ウィンドウ中の詳細情報の表示方法について説明します。

ムービー情報

DVD または ブルーレイ ディスクを再生中に、[ムービー情報]ページからディスク タイトルのムービー詳細およびディスク情報を表示することができます。MoovieLive Web サイトから、これらの詳細および他の情報(ムービー再生情報など)がダウンロードされます。

[ムービー情報]タブから、ムービーの MovieMark を確認することもできます。[ムービー情報]ページを表示するには、ムービーを再生中に、メディア再生メニュー([DVD] または [Blu-ray])を選択し、[**ムービー情報**]を選択します。または、再生を停止した後に、 ボタンをクリックします。

MoovieLive

MoovieLive は、他のユーザーとムービー情報を共有する Web サービスです。Moovie Live ができることは、次の通りです。

- ・ ムービーの評価、レビュー、再生情報を表示。
- ・ ムービーの詳細情報(キャスト、スタジオ、監督など)を表示。
- ・ ムービー情報に、コメント、評価、更新内容を追加。
- ・ ムービーの MovieMark を再生、ダウンロード。
- ・ ムービーのディスク情報を表示。


MoovieLive にサインインするには、[**ムービー情報**] ページ右上の[サインイン]のリンクをクリックします。MoovieLive Web サイトの機能やサービスに関する詳細は、www.moovielive.com をご覧ください。

ムービー情報

[**ムービー情報**] ページには、再生中のムービーの詳細情報が表示されます。ムービーの情報が表示されない場合は、[**ダウンロード**] ボタンをクリックします。

MoovieLive にムービー情報を追加する

再生中のムービーの情報が MoovieLive で見つからない場合は、自分で新しい情報を追加し、アップロードすることができます。

注：  をクリックし、MoovieLive でムービーを検索してから、情報を追加するようにしてください。

MovieLive にムービー情報を追加するには、情報を入力し、[**保存**] をクリックします。[**アップロード**] をクリックし、MoovieLive Web サイトに情報を公開します。

マイムービーにムービーを追加する

特定のムービーが気に入り、今後も他ユーザーのコメントを読んだり、MovieMark を再生したりする場合は、そのムービーを [**ムービーコレクション**] に追加することができます。この処理を行うには、[**マイムービーに追加**] をクリックします。ムービーコレクションに関する詳細は、80 ページの「ムービーコレクション」を参照してください。

コメント

[**ムービー情報**] タブの [**コメント**] 欄には、最後に入力したコメント * が表示されます。

注：* この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

MovieMark

[MovieMark] タブには、コンピューターに入っている現在のムービーの MovieMark がすべて表示されます。MovieMark は自分で作成、または MoovieLive からダウンロードしたブックマークのセットを指します。

このムービーに MovieMark が追加されていない場合、[**ブックマークの追加**] をクリックしてブックマークを追加するか、[**ダウンロード**] ボタンをクリックして MoovieLive から既存の MovieMark をダウンロードします。MovieMark の作成、編集、再生に関する詳細は、62 ページの「ブックマークの機能」を参照してください。

パーソナル メモ

[**パーソナル メモ**] タブでは、ムービーの評価や視聴日など、個人的な視聴情報を記録できます。

自分の評価

ムービーへの自分の評価を記録します (最高は星 5 つ)。

視聴記録

視聴記録には、ムービーの視聴履歴が記録されます。CyberLink PowerDVD でムービーを再生すると、視聴時間が追加されます。CyberLink PowerDVD 以外 (映画館やテレビなど) で視聴した場合、[**追加**] をクリックすると視聴時間を履歴に追加できます。

- **視聴方法**: ムービーの視聴方法を選択します。
- **日付**: ムービーを視聴した日付を入力します。
- **種類**: ムービーの種類 (DVD やブルーレイ ディスクなど) を選択します。映画館またはテレビで見た場合は、[**ムービー**] を選択します。
- **時間**: ムービーを視聴した時間を入力します。
- **メモ**: ムービーに関する個人的なメモを入力します。たとえば、どこで誰と見たかなどを記録します。

[OK] をクリックして [**保存**] ボタンをクリックして、メモを保存します。次に [**アップロード**] ボタンをクリックして、MoovieLive にこの情報を公開します。

注：[ムービー コレクション]には、CyberLink PowerDVD で再生したムービーの視聴履歴が表示されます。詳細は、80 ページの「ムービー コレクション」を参照してください。

ディスク情報

[**ディスク情報**] タブには、現在ディスクドライブに入っているディスクの詳細情報が表示されます。MoovieLive からチャプターのタイトルやディスクのバージョン情報を取得するには、[**ダウンロード**] ボタンをクリックします。

注：ムービーのディスクに複数のバージョンがある場合（ワイド スクリーン版、ディレクター カット版、2 枚組み版など）、一覧から選択するか、[**ディスクバージョン**] の欄にバージョン名を入力します。

チャプターのタイトルを編集する


ディスクの各チャプターのタイトルを入力することができます。あとでこのムービーを再生する場合、タイトルを書き込んでおくと検索が便利です。チャプター タイトルを編集するには、次の操作を行います。

1. [ディスク情報] タブの [**チャプターのタイトルを編集**] をクリックします。
2. チャプターの [タイトル] の欄をクリックしてタイトルを入力します。
3. チャプター タイトルの書き込みが終わったら、[**保存**] ボタンをクリックします。

ムービー コレクション

[ムービー コレクション]*には、お気に入りムービー、所有するムービー、CyberLink PowerDVD で再生したムービーの視聴履歴が一覧が表示されます。ムービー コレクションには、作成したまたは MoovieLive からダウンロードした MovieMark の一覧も表示されます。

注: * この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。


[ムービー コレクション] を表示するには、再生中にメディア再生メニュー ([DVD] または [Blu-ray]) を選択し、[ムービー コレクション] を選択します。または、再生を停止した後に、 ボタンをクリックします。


ムービーコレクションを FancyView で表示するには、[FancyView] ボタンをクリックします。リモコン、ノートブックのタッチパッド、キーボードの矢印キーを使うか、マウスのスクロールホイールでムービーをスクロールします。右上の検索機能を使用すると、コレクション内の特定のムービー、MovieMark を検索することができます。

コレクション

[コレクション] タブにはユーザーが所有するムービーや、コレクションに追加したムービーの一覧が表示されます。このウィンドウで、お気に入りのムービーを手作業で追加することもできます。

[コレクション] タブは、視聴したムービーや所有するムービー、興味のあるムービーを記録しておくのに便利です。ムービーを追加すると、ムービータイトルのリンクをクリックするだけで MoovieLive Web サイト上のムービー情報にリンクし、MovieMark を検索することもできます。[コメント] をクリックすると MoovieLive が開き、このムービーに関するコメントが表示されます。

[コレクション] にあるムービーの詳細情報を表示するには、 ボタンをクリックして [ムービー情報] ウィンドウを開きます。詳細は、77 ページの「ムービー情報」を参照してください。

注: CyberLink PowerDVD で再生したムービーには、チャプターアイコン  が表示されます。アイコンをクリックして、このムービーのチャプタービューアーのサムネイルを表示します (ディスクがドライブに入っていない場合も表示可能)。

マイムービーにムービーを追加する

まだ見ていないムービーを [コレクション] に追加することもできます。


ムービーを追加するには、次の操作を行います。

1. [**ムービーの追加**] ボタンをクリックします。
2. [**ムービーの検索**] ウィンドウで、追加するムービーの名前を入力し、[OK] をクリックします。ムービーの候補が一覧表示されます。
3. [**検索結果**] ウィンドウで追加するムービーを選択し、[OK] をクリックします。
4. ディスクの種類を選択して (ディスクを所有していない、もしくはコレクションに登録するだけの場合は、[**ムービー**] を選択)、[OK] をクリックします。

注：対象のムービーがない場合は、[**ムービー情報**] ウィンドウで手作業で追加します。詳細は、78 ページの「MoovieLive にムービー情報を追加する」を参照してください。


新しいムービーを [**コレクション**] に追加したら、[**MoovieLive と同期**] ボタンをクリックして、更新した情報を MoovieLive Web サイトにアップロードし、他の人達と共有します。


MovieMark

[MovieMark] タブには、MoovieLive から追加またはダウンロードした MovieMark がすべて表示されます。Moviemark でブックマークを表示するには、 ボタンをクリックして、[**ブックマークビューアー**] を開きます。詳細は、62 ページの「ブックマークビューアー」を参照してください。

PowerDVD での視聴記録

[PowerDVD **での視聴記録**] タブには、CyberLink PowerDVD で再生した視聴履歴が表示されます。


 アイコンをクリックすると、チャプタービューアーのチャプターサムネイルが表示されます (ディスクがドライブに入っていない場合も表示されます)。

 をクリックして、視聴記録を編集します。

第 4 章：

設定

この章では、CyberLink PowerDVD の設定方法を説明します。

[設定] ウィンドウは、再生コントロールの  ボタンをクリックするか、キーボードの [Ctrl + C] を押すと表示されます。

注：Dolby、Pro Logic、Surround EX、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DD シンボルは、Dolby Laboratories の登録商標です。DTS、DTS 96/24、DTS-HD は、DTS (デジタル・シアター・システムズ) の登録商標です。

ユーザー インターフェイス

[ユーザー インターフェイス] のタブから、言語設定を行います。

言語

[言語] オプションで、ユーザー インターフェイスの言語を選択します。

- ・ [システムのデフォルト言語を使用する] を選択すると、オペレーション システムと同じ言語に設定されます。
- ・ [ユーザー定義] を選択すると、ドロップダウン メニューから使用する言語を選択することができます。

プレーヤー

[プレーヤー] のタブから、再生中の動作を設定します。

このタブの設定は、次のように行います。

デフォルトのディスクドライブ

コンピューターに複数のディスクドライブがある場合は、[デフォルトのディスクドライブ] オプションで、デフォルトのドライブを選択します。

オート レジューム (続きから再生) 設定

[オート レジューム設定] オプションで、ディスクを挿入後、どこから再生するかを選択します。この機能の詳細については、15 ページの「オート レジューム (続きから再生)」を参照してください。

設定内容をドロップダウン リストから選択します。ディスク挿入時に、プロンプト表示をしない場合は、[ムービーの始めから再生する] か [前回の続きから再生する] を選択します。

プレーヤーオプション

- **Windows 起動時に PowerDVD 11 を自動起動する** : コンピューターを起動すると、自動的に CyberLink PowerDVD を起動します。
- **ツール ヒントを表示する** : 特定の機能をマウス カーソルでポイントすると、ツール ヒントを表示します。
- **DVD+VR 規格を有効にする** : DVD+VR ディスクの再生を可能にします。
- **インターネットから製品情報を取得する** : 新しい製品情報および広告を、自動的に取得します。
- **再生の停止時に評価ダイアログを表示する** : 再生を停止する時に、評価ダイアログを表示しない場合は (インターネットに未接続の時のみ表示)、このオプションを選択解除します。

再生画面の設定

- **フル スクリーンで再生する** : デフォルトでコンテンツをフル スクリーンで再生します。
- **動画を常に手前に表示する** : コンピューターでプログラムやウィンドウを開いていても、動画を常に手前に表示する場合は、このオプションを選択します。

プレーヤーの詳細設定

[プレーヤー] タブから、詳細設定を行うこともできます。詳細設定を行うには、[詳細設定] ボタンをクリックします。

次のタブからひとつを選択します。

キャプチャー

[キャプチャー] タブでは、動画またはムービーのフレーム キャプチャー (スナップショット) の方法を設定します。詳細は、68 ページの「お気に入りの

シーンのフレームをキャプチャーする (スナップショット)」を参照してください。

デフォルト キャプチャー モード

- **クリップボードにキャプチャーする**: 画像をクリップボードにキャプチャーし、その後に別の保存先またはプログラムに手動で貼り付ける場合に、このオプションを選択します。
- **ファイルとしてキャプチャーする**: 画像を BMP 形式でキャプチャーする場合に、このオプションを選択します。[参照] をクリックしてフォルダーを選択し、キャプチャーする画像の保存先を指定することもできます。

キーボード / マウス

[キーボード / マウス] タブで、マウス スクロールとキーボードの設定をします。

キーボード設定

このオプションでは、キーボードで [Page Up] (巻き戻し) または [Page Down] (早送り) キーを押したときのタイム シークの間隔を指定します。入力した秒数に基づいて、再生中の動画コンテンツを巻き戻し / 早送り (ジャンプ) します。

デフォルト設定

[デフォルト設定] のタブで、ディスク コンテンツのデフォルト言語を設定します。

- [カスタマイズ] オプションで、ディスクのメニュー、字幕、音声のデフォルト言語を選択します。
- オペレーション システムと同一のディスクメニュー、字幕、音声を自動的に表示する場合は、[PowerDVD の言語設定と同じ] を選択します。

注: デフォルト言語として設定しても、ディスク コンテンツにその言語が含まれない場合は表示されません。

ファイルの関連付け

[ファイルの関連付け] タブでは、CyberLink PowerDVD がデフォルトのプレーヤーの場合の、ファイル形式を設定します。

ファイルの関連付け

チェックボックスの定義は次の通りです。

- ☐ このファイル形式には、CyberLink PowerDVD がデフォルト プレーヤーとして指定されていません。
- ☒ このファイル形式の一部に、CyberLink PowerDVD がデフォルト プレーヤーとして指定されています。
- ☒ このファイル形式のすべてに、CyberLink PowerDVD がデフォルト プレーヤーとして指定されています。

注：拡張子はカテゴリ別に関連付けを有効化または無効化します（個別には指定できません）。

コンピューターでファイルの関連付け一覧にある形式のファイルをダブルクリックすると、CyberLink PowerDVD が自動的に起動して再生を開始します。

- **挿入したディスクを自動再生する**：ディスクをディスクドライブに挿入したときに、自動的に再生を開始するようにするには、このオプションを選択します。

動画の設定

[**動画**] のタブから、動画の設定を行います。

ハードウェア アクセラレーション

- **ハードウェア アクセラレーションを有効にする**：ハードウェアから IDCT および動き補償（モーション コンペンセーション）を適用して、スムーズに再生する場合にこのオプションを選択します（ディスプレイ カードの能力が十分な場合）。このオプションを有効にすると、一部の機能は使えなくなります。

TrueTheater エフェクト

注：* この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

TrueTheater エフェクトは、DVD タイトルで最高画質を適用する CyberLink 独自の映像技術です。




注: TrueTheater エフェクトは、ブルーレイ ディスク タイトルの再生中は使用できません。TrueTheater エフェクトは、ハードウェア アクセラレーションの有効時も使用できません。

- **自動調整**: TrueTheater の全エフェクトを自動的に適用し、CPU 使用率およびモバイル電源設定 (ノートブックのみ) に応じて、TrueTheater HD および Motion の値を調整 (オンまたはオフ) します。
- TrueTheater HD: 元の動画をより高い解像度 (よりシャープ、ノイズなし) にアップスケールします。TrueTheater HD は、480p から 1080p までブースト可能です。スライダーを使ってシャープを最適に調節します。
- TrueTheater Lighting (CyberLink Eagle Vision2): CyberLink 独自の映像技術で、動画コンテンツの明るさ、コントラスト、彩度を調整します。これにより、非常に暗いシーンから明るいシーンまで幅広い映像が入った動画を再生する際にも、色の設定を変更する必要はなくなります。スライダーを使って、TrueTheater Lighting をお好みのレベルに調整します。
- TrueTheater Motion: フレーム レートを 24 fps から 60 fps にアップサンプリングし、アクション ムービー等の動きをさらにスムーズに再生します。[スムーズ (中)] を選ぶと、フレーム レートは、元のムービー コンテンツの二倍になります。[スムーズ (強)] を選ぶと、ディスプレイの出力フレーム レートによって、動画コンテンツを毎秒 60 か 72 フレームのフレーム レートまで改善します。

TrueTheater エフェクト ディスプレイ モード

TrueTheater エフェクト ディスプレイ モード オプションは、TrueTheater エフェクトを有効にしている場合に使用可能で、動画再生中にオプションを選択することができます。

次のディスプレイ モードから選択できます。

- : 全体の映像に TrueTheater エフェクトが適用されます (通常モード) 。
- : 左半分には元の映像が、右半分には TrueTheater エフェクトが適用され、両方を比較することができます (分割モード) 。
- : 左半分には元の全体映像が、右半分には TrueTheater エフェクトが適用された同一の映像をプレビューします (比較モード) 。

カラー プロファイル

ドロップダウン メニューからプロファイルを選択して、動画コンテンツのカラー スキームを全体的に変更します。[オリジナル]を選択すると、再生中のディスクのカラー スキームが使用されます。[ビビッド]、[ブライト]、[シアター]を選択すると、ディスプレイに補正した色を追加します。

注：TrueTheater Lighting を有効にすると、カラー プロファイル機能は無効になります。

動画の詳細設定

[動画] タブから、詳細設定を行うこともできます。詳細設定を行うには、[詳細設定] ボタンをクリックします。

スマート デインターレース モード

この設定では、ディスプレイ画面の環境設定に応じた変更が可能です。

デインターレース モード

- デインターレース モードを使用しない場合は、[使用しない]を選択します。
- CPU 使用率を低くする場合は、[デインターレースを使用する]を選択します。

注：TrueTheater 動画エフェクトが有効になっている場合、デインターレース オプションは使用できません。

- 使用する場合、[デインターレースの設定]のドロップダウン リストから選択します。必要に応じて、オプションを選択してください。
- デインターレースを使用する場合は、[スマート デインターレースを使用する]を有効にし、[ピクセル適合(アドバンス)]に設定することをお勧めします。これを設定することで、画像が最適化されます。

音声の設定

[音声] タブでは、メディア音声の設定をします。

スピーカー環境

注: これらの設定は、再生音声を最適化するドルビー PCEE 対応バージョンの CyberLink PowerDVD では無効になります。

使用しているサウンドカードやスピーカーの数に合わせて、適切な [スピーカー環境] を選択します。

- [ヘッドフォン] は、ヘッドフォンを使用して音声を聴くノートパソコンユーザー向けの設定です。
- [2スピーカー] は、スピーカーが 2 つしかないか、サウンドカードが 2 チャンネル出力のみに対応するデスクトップやラップトップユーザー向けの設定です。
- [4 スピーカー] は、4 チャンネル出力対応のサウンドカードを搭載したコンピュータ向けの設定です。
- [6 スピーカー] (5.1 チャンネルとも言う) は、6 チャンネル出力対応のサウンドカードを搭載したコンピュータ向けの設定で、Dolby Digital 5.1 や DTS 5.1 のようなマルチチャンネルエンコーディングに対応する DVD 動画タイトルに適しています。
- [7 スピーカー] および [8 スピーカー] オプションは、複数のスピーカーを使用して音声を出力したいユーザー向けの設定です。
- [S/PDIF を使用] オプションは高度な技術を使用したデジタルインターフェイスで、ソニーとフィリップス両社によって考案された規格です (アナログインターフェイスを介した従来型転送信号に対比)。6 スピーカーを十分にお楽しみいただくには、外部 Dolby Digital/DTS デコーダーと S/PDIF 互換サウンドカードが必要です。

注: S/PDIF 音声出力が有効で、出力ストリームが PCM ではない場合、CyberLink PowerDVD のボリュームコントロールは使用できません (デコーダーがタスクを代行するため)。

- [HDMI 出力] は、オーディオを HDMI 端子に接続しているユーザー向けの設定です。

注：Windows XP は、HDMI 出力に対応していません。

出力モード

このオプションを使用すると、オーディオ信号で使用される特定の処理を指定できます。利用可能な設定を試して、お好みの設定を選択します。

注：[出力モード] のドロップダウン メニューに表示されるオプションは、[スピーカー環境] での選択内容や使用しているコンピューターの設定によって異なります。

- [Dolby Surround Compatible Downmix] と [ステレオ] の主な違いは、Dolby Surround では Dolby Surround* ダウンミックス アルゴリズムが使用され、Dolby Surround 用に 4 チャンネル サラウンド サウンド (左、右、中央、サラウンド) を有効化するため、アナログの Pro Logic デコーダーがサウンドカードに接続されている可能性があることです。このほかの点については、2 チャンネル出力と類似しています。
- [Dolby Headphone] はバーチャル サラウンド サウンドを作り出す後処理エフェクトで、特にヘッドフォン環境に最適ですが、ノートパソコンやデスクトップ環境においても有効です。詳細は、93 ページの「Dolby Headphone」を参照してください。
- [TrueTheater Surround* (CyberLink ヘッドフォン)] は、ノートパソコン音声をヘッドフォンで出力する際の音質を高めるために、CyberLink が開発した技術です。[詳細設定] では、リビングルーム、シアター、スタジアムといった異なるリスニング環境が設定できます。詳細は、94 ページの「TrueTheater Surround (Headphone モード) - オプション」を参照してください。
- [Dolby Virtual Speaker]* オプションを使用すると、2 つのスピーカーでバーチャル サラウンド サウンドが楽しめます。詳細は、94 ページの「Dolby Virtual Speaker」を参照してください。
- TrueTheater Surround* (CyberLink バーチャルスピーカー): は、CyberLink が開発したバーチャル サラウンド技術です。詳細は、95 ページの「TrueTheater Surround (バーチャル スピーカー モード) - オプション」を参照してください。

- TrueTheater Surround* (CyberLink マルチチャンネル環境印象テクノロジー 2): CyberLink が開発したオーディオ チャンネル拡張技術で、ステレオ オーディオ サウンドを変換して複数のチャンネルに出力します (2 チャンネルの音源を 4、6、7、8 スピーカーに、または 2 チャンネルの音源を 7、8 スピーカーに変換)。詳細は、95 ページの「TrueTheater Surround」を参照してください。
- Dolby Pro Logic IIx*: 3 つのオプションがあります。詳細は、96 ページの「Dolby Pro Logic IIx (オプション)」を参照してください。

注 : * この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

S/PDIF 出力モード

ブルーレイ ディスクの再生時に、S/PDIF がスピーカー環境として選択されている場合、次の出力モードが使用できます。選択すべきモードは、コンピューターに接続されている外部デコーダー (AV 受信機) によって異なります。

- **主音声のみ**: このモードでは、主映像の音声のみが出力されます (ピクチャー イン ピクチャー、セカンダリービデオ ストリーム、ディレクターズ コメントには音声が付きません)。圧縮された音声は外部デコーダー (AV 受信機) にパススルーされます。

注 : 主音声形式が Dolby Digital、DD+、DTS、DTS-HD 以外である場合、両方の音声信号が同時に出力されます。

- **Dolby Digital* ミキシング**: このモードでは、主映像の音声と副映像の音声をミキシングして Dolby Digital ビットストリームにエンコードすることで、両方の音声信号が同時に出力されます。使用している外部デコーダー (AV 受信機) が Dolby Digital に対応する場合に、このオプションを選択します。
- **DTS* ミキシング**: このモードでは、主映像の音声と副映像の音声をミキシングして DTS ビットストリームにエンコードすることで、両方の音声信号が同時に出力されます。使用している外部デコーダー (AV レシーバー) が DTS に対応する場合に、このオプションを選択します。

注：* この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

HDMI 出力モード

次の出力モードは、Windows 7 または Vista の環境で、外部デコーダー (AV 受信機) が HDMI 端子に接続されている場合に使用できます。選択すべきモードは、コンピューターに接続されている外部デコーダー (AV 受信機) によって異なります。

- **PCM (PowerDVD でデコード)**: このモードでは、アナログ信号のデジタル表現を作成します。このオプションは、使用している外部デコーダー (AV 受信機) が、デジタル音声出力向けに Dolby Digital か DTS に対応していない場合に選択します。
- **デコードされていない Dolby Digital/DTS オーディオを外部デバイスへ**: このモードでは、圧縮された音声が入外部デコーダー (AV 受信機) に渡されます。このオプションは、アンプや受信機が、再生時に Dolby Digital か DTS に対応している場合に選択します。
- **デコードされていないハイデフィニション音声を外部デバイスへ (HDMI 1.3 のみ)**: このモードでは、Lossless の音声が入外部デコーダー (AV 受信機) に渡されます。このオプションは、アンプや受信機が、再生時にハイデフィニション音声に対応している場合に選択します。

音声の詳細設定

[音声] タブの [**詳細設定**] をクリックすると、再生音声の詳細設定ができます。

注：音声詳細で表示されるオプションは、選択したスピーカー環境によって異なります。選択した環境に合った設定を確認します。

その他の設定

このタブでは、マルチ チャンネル エンコーディングに対応する DVD の音声を設定できます。

ダイナミックレンジ圧縮

このセクションは、Dolby Digital テクノロジーに対応するディスクにのみ対応します。

- 集中してムービーを楽しみたい場合、[**静かな環境**] を選択します。聞き取り可能な音はすべて、低周波から高周波まで際立ったものとなり、Dolby Digital のダイナミックレンジをフル活用したものとなります。
- 聴取環境で Dolby Digital のダイナミックレンジをフル活用しない場合、[**標準的な環境**] を選択します。Dolby Digital 音声スペクトルの極端な範囲にあたる音声エフェクトは圧縮されます。
- ノートパソコンまたはラップトップで CyberLink PowerDVD を使用しているユーザーには、最後のオプションが適しています。[**騒がしい環境**] では、低域のオーディオ信号が増幅され、聴取可能な音量が増します。

バスマネージメント

低音を高め、Dolby Digital か DTS 拡張ディスクの LFE エフェクトを強化する場合は、このオプションを選択します。ヘッドフォンや、2 スピーカー、4 スピーカーの環境で効果があります。

ヘッドフォンの設定

次のオプションは、[音声] 設定の [スピーカー環境] で [ヘッドフォン] を選択している場合に使用できます。

Dolby Headphone

[Dolby Headphone]* オプションは、Dolby Headphone 出力時に選択します。

注：* この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

モード

聴取環境にあわせて、次のモードから 1 つを選択します。

- DH1: 映画と音楽の録画 / 録音用の小さな防音個室をシュミレートします。これは Dolby Headphone の「Reference Room」に相当し、Dolby Headphone 対応の製品すべてに付属しています。
- DH2: より音響効果に優れた、音楽聴取に最適なライブ ルーム (ジャズ クラブなど) をシュミレートします。

- DH3: コンサートホールや映画館のような、広い場所をシミュレートします。

TrueTheater Surround (Headphone モード) - オプション

TrueTheater Surround (Headphone モード) の詳細オプションでは、異なる聴取環境をシミュレートできます。

注：* この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

TrueTheater Surround (Headphone モード)

- **リビングルーム**: 映画と音楽の録画 / 録音用の小さな防音個室をシミュレートします。
- **シアター**: 音楽聴取に最適な、ライブ コンサート環境をシミュレートします。
- **スタジアム**: より大きなコンサート環境をシミュレートします。

注：この音声オプションは、プログラムの登録後に使用可能となります。詳細は、8 ページの「ソフトウェアをアップグレードする」を参照してください。

2 スピーカーの設定

次のオプションは、[音声] 設定の [スピーカー環境] で [2 スピーカー] を選択している場合に使用できます。

Dolby Virtual Speaker

Dolby Virtual Speaker テクノロジーを使用すると、2つのスピーカーでバーチャル サラウンド サウンドを楽しめるようになります。

注：* この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

モード

- ・ **標準** : 2つのスピーカーの距離で規定するフロント イメージ全体にわたる音の幅から、2つのスピーカーで 5 スピーカー サラウンド サウンドを作り出します。
- ・ **ワイド 1** : 2つのスピーカーを近づけて置いた場合に、より広がりのあるフロント イメージを実現します。
- ・ **ワイド 2** : このモードは [ワイド 1] に似ていますが、サラウンド スピーカーがより強調されます。

TrueTheater Surround (バーチャル スピーカー モード) - オプション

TrueTheater Surround (バーチャル スピーカー モード) は、CyberLink が開発したバーチャル サラウンド 技術です。

注 : * この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

- ・ **リビング ルーム** : 映画と音楽の録画 / 録音用の小さな防音個室をシュミレートします。
- ・ **シアター** : 音楽聴取に最適な、ライブ コンサート 環境をシミュレートします。
- ・ **スタジアム** : より大きなコンサート 環境をシミュレートします。

4/6/7/8 スピーカーの設定

次のオプションは、[音声] 設定の [スピーカー 環境] で 4、6、7、8 スピーカーを選択している場合に使用できます。

TrueTheater Surround

TrueTheater Surround (マルチ チャンネル 環境 印象 モード) は、CyberLink が開発したオーディオ チャンネル 拡張 テクノロジーで、ステレオオーディオ サウンドを変換して複数のチャンネルに出力します (2 チャンネルの音源を 4、6、7、または 8 スピーカーに、または 2 チャンネルの音源を 7 または 8 スピーカーに変換)。

注 : * この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

モード

- ・ **ムービー再生** : ムービーの再生に適しています。
- ・ **ミュージック モード - スタンダード** : 聴衆の間で演奏するコンサートをシミュレートします。
- ・ **ミュージック モード - オンステージ** : ステージでのコンサートをシミュレートします。

設定

- ・ スライダーを使用して、選択したモードの [前]、[後]、[中央]、[LFE] (low frequency effect) レベルを設定します。[リセット] をクリックすると、スライダーが元のレベルに戻ります。

注 : スピーカーが 120Hz の低周波信号を出力できない場合、スピーカーの破損を避けるため、LFE の使用を抑えることをお勧めします。

Dolby Pro Logic IIX (オプション)

Dolby Pro Logic IIX* には、3 つのオプションがあります。

注 : * この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

モード

- ・ **ムービー モード** : ムービーの再生にはこのオプションを選択します。
- ・ **ミュージック モード** : 音楽を聴くにはこのオプションを選択します。
- ・ **Dolby Digital EX モード** : 高音質のサラウンド サウンドで聴くにはこのオプションを選択します。

縦横比

[縦横比] タブでは、縦横比 4:3 の映像を 16:9 に変換する (あるいはその逆) 設定ができます。

フルスクリーン ディスプレイ設定

- ・ **常に縦横比を保持する**:ディスプレイのサイズ(縦横比)を変更しても、縦横比は変わりません。このオプションは、下の TrueTheater Stretch オプションには対応しません。
- ・ **リニアストレッチ**:動画全体を平均的にストレッチします。ビデオ ディスプレイとモニターの縦横比が合わないと、歪みが大きくなります。
- ・ TrueTheater Stretch*(CyberLink Pano Vision) は、非線形のビデオ ストレッチング技術で、画像中央のゆがみを最少に抑えます。TrueTheater Stretch 機能は、フル スクリーン モードでのみ使用できます。ワイド スクリーンの縦横比の DVD に適しています(例:4:3 モニターで 16:9 が最適)。この機能では CyberLink 独自の Pano Vision ビデオ テクノロジーを使用してムービーをストレッチし、モニターのサイズに合わせます。次のいずれかを選択します。

注: * この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。この機能は、DxVA 使用時にブルーレイ ディスクを再生する間、無効になります。

- **[スマートストレッチ]**はほとんどの動画に推奨できるもので、画像の中央はそのまま、端を少しカットしたりストレッチしたりします。
- **[ストレッチスクリーン]**は、画像の中央はそのまま、端をわずかにストレッチします。
- **[スマート 2.35:1]**は、2.35:1 の縦横比のディスクに適しています。この設定では、2.35:1 の縦横比のディスクを再生する場合、ワイド スクリーン(16:9 または 16:10)の画面に最大に表示します。
- **[カスタムストレッチ]**で、出力画像の縦横比をカスタマイズします。**[強度]**スライダーを使って、ストレッチする画像のカーブをカスタマイズします。**[クロップサイズ]**スライダーを使って、画像のどちらかの側のクロップ マージン(切り取る余白)を設定します(16:9 ディスプレイで 4:3 コンテンツを再生する場合、上と下、4:3 ディスプレイで 16:9 コンテンツを再生する場合、右と左)。**[オフセット]**スライダーを使って、画像の位置を決めます。スライダーを使って、特定のディスプレイに合ったカスタム ストレッチを行います。

DVD の設定

[DVD] タブから、DVD の再生設定をします。

DVD 機能

[DVD] 機能オプションでは、DVD や VCD 再生時のオプション設定を行います。

注：これらのオプションは、再生を一時停止にしている場合にのみ設定できます。

- ・ **フルスクリーン モードの時、自動で Read-It-Clearly を適用する**：フルスクリーン上で字幕が見にくい場合、字幕の位置を移動します。
 - **高性能モード**：Read-It-Clearly を有効時に、性能がアップします。

注：VGA ドライバーを最新の状態にアップグレードしてから、[**高性能モード**] を有効化することをお勧めします。

- ・ **DVD/VCD を 4-8 倍速でよりスムーズに再生する**：DVD や VCD を 4 倍速または 8 倍速で再生しても、スムーズに再生されます。

チャプター ビューアーのサムネイル

チャプタービューアーを使用すると、コンピューターに全チャプターのサムネイルが保存されます。サムネイルを削除し、ディスクの空き容量を確保するには、次の操作を行います。

1. [**管理**] ボタンをクリックします。
2. 削除するタイトルのサムネイルをリストから選択します。
3. [**削除**] をクリックして、コンピューターから選択した画像を削除します。[**閉じる**] をクリックすると、[DVD] 設定タブに戻ります。

ブルーレイ ディスクの設定

[ブルーレイ ディスク] タブ * では、ブルーレイ ディスクの再生設定をします。

注：この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

国コード

ブルーレイ ディスクの一部は、国コードが指定されており、該当コードを選択時のみ再生可能です。

- ・ [**システムのデフォルトの国を使用**] を選択して、オペレーション システムと同じ国を使用します。
- ・ [**ユーザー定義**] を選択し、ドロップダウン メニューから CyberLink PowerDVD で使用する国を選択します。

リージョン コード

[**リージョン コード**] セクションで、コンピューターのブルーレイ ディスクドライブのリージョン設定を管理、変更します。

注 : ディスクドライブのリージョン設定の変更は、5 回まで行えます。

- ・ ディスクドライブに設定するリージョンを選択します。特定のリージョンに設定すると、そのリージョンのタイトルだけをディスクドライブおよび CyberLink PowerDVD で再生できるようになります。
- ・ **残りの変更可能回数** : リージョン コードを変更できる回数が表示されます。

BD-J アプリケーション認証

- ・ **認証が無効の場合に接続する** : ディスクのデジタル署名が確認できない、あるいは無効の状態でブルーレイ ディスクの BD-J コンテンツにアクセスする場合、インターネットの接続を継続するか、メッセージが表示されます。コンテンツが安全でない場合があるためです。このオプションを選択すると、CyberLink PowerDVD は表示なしに、継続的に BD-Live サイトに接続します。
- ・ **BD-J キーボード対応を有効にする** : BD-J コンテンツのキーボード対応を有効化します。

注 : この機能を有効にすると、CyberLink PowerDVD のホット キーはすべて無効になります。

ブルーレイ ディスクの詳細設定

[**ブルーレイ ディスク**] タブでは、ブルーレイ ディスクの詳細設定を行うこともできます。詳細設定を行うには、[**詳細設定**] ボタンをクリックします。

BD-Live

[BD-Live] タブでは、インターネットからダウンロードされたコンテンツの保存フォルダーを選択します。

ローカルストレージ

[ローカルストレージ] では、インターネットからダウンロードしたコンテンツ (仮想パッケージ メディアなど) を保存する場所を指定します。

デフォルトの場所を変更する場合は、[参照] をクリックして保存するディレクトリを選択します。[管理] をクリックして、コンピューターからこの追加コンテンツを削除し、ディスクの空き容量を確保することもできます。

Windows Aero

Windows 7/Vista コンピューターでブルーレイディスクを再生中に、[Windows Aero] タブを選択して、[**自動的に Windows Aero を無効にして、ブルーレイディスクの再生を最適化する**] を選択すると、パフォーマンスが向上します。再生を停止すると、Windows Aero は再度有効化されます。

ハイブリッド ディスク

[ハイブリッド ディスク] タブでは、ハイブリッド ディスクがディスクドライブに挿入されている場合のデフォルトの動作を設定します。

ハイブリッド ディスク

ドロップダウンから、ハイブリッド ディスク (DVD/ ブルーレイディスク) がディスクドライブに挿入されている場合の動作を設定します。ハイブリッドディスクがブルーレイディスクドライブに挿入されている場合、[**ディスクドライブの種類に合った形式を再生する**] を選択します。常に DVD ビデオを再生する場合は、[**常に DVD ビデオを再生する**] を選択します。

ブルーレイ 3D

ブルーレイ 3D*

CyberLink PowerDVD でブルーレイ 3D を再生するには、[**ブルーレイ 3D サポートを有効にする**] を選択します。ブルーレイ 3D 再生を無効にするには、選択を解除します。

注 : * この機能は、CyberLink PowerDVD の一部のバージョンではご利用いただけません。

MoovieLive の設定

[MoovieLive] タブから、MoovieLive Web サービス関連を設定します。

自動サインイン

CyberLink PowerDVD 起動時に、自動的に MoovieLive にサインインする場合に、このオプションを選択します。

- [MoovieLive に自動サインインする] を選択して、自動的に MoovieLive にサインインします。

注 : ユーザー名とパスワードがない場合は、[サインアップ] を選択してサインアップしてください。

MoovieLive の機能

- [MoovieLive の埋め込みページを有効にする] を選択すると、MoovieLive の Web ページ機能が埋め込み表示されます。[ムービー] タブに MoovieLive の埋め込みページを表示しない場合は、この選択を解除します。
- [詳細機能を有効にする] オプションを選択すると、CyberLink PowerDVD を使って、MoovieLive の詳細機能および利点 (ディスク挿入時にディスク情報をダウンロード、コメントおよび MovieMark の表示など) が有効になります。

注 : 詳細情報を取得するには、MoovieLive のプライバシーポリシーに同意する必要があります。リンクをクリックすると、プライバシーポリシーおよび利用規約のページが表示されます。

データ言語

[データ言語] オプションでは、CyberLink PowerDVD に表示される MoovieLive サイトのムービー情報の言語を選択します。

- [PowerDVD の言語設定と同じ] を選択すると、[ユーザー インターフェイス] タブで指定している言語と同じ言語が使用されます。詳細は、86 ページの「動画の設定」を参照してください。
- 別の言語を選択するには、[PowerDVD の言語設定と同じ] の選択を解除し、ドロップダウン メニューで言語を選択します。

情報

[情報] タブには、再生中のディスク、コンピューターのディスクドライブ、ハードウェア情報等の詳細が表示されます。

注：表示される情報は、お使いのコンピューターの内容によって異なります。情報の一部は、英語で記載される場合があります。

モバイル電源設定

バッテリー駆動のノートパソコンまたはラップトップで CyberLink PowerDVD を使用している場合、バッテリー残量に注意する必要があります。[モバイル電源設定] では、バッテリーが指定レベル以下になった場合に、バッテリー ライフを優先したり、再生を停止する設定をします。

電源

[電源] のエリアには、使用中の電源 (バッテリーまたは AC アダプター) が表示されます。バッテリーを使用している場合は、バッテリー残量が表示されます。

バッテリー

ノートブック / ラップトップをバッテリー駆動している場合、[バッテリー] オプションから、自動で再生を停止するバッテリー レベルを指定します。スライダーを使って、パーセンテージで指定します (3%-100%)。

電源設定

[電源設定] では、電源の使用方法和再生パフォーマンスを設定できます。

- **バッテリー ライフ優先**: パフォーマンスを若干低くして長時間再生を行うには、このオプションを選択します。

- **最適化**: 品質とパフォーマンスのバランスを等しくするには、このオプションを選択します。
- **パフォーマンス優先**: バッテリー ライフよりも再生の質を優先するには、このオプションを選択します。

LCD 明るさ

バッテリー駆動のノートブック / ラップトップでコンテンツを再生する際の LCD 明るさの設定を行います。

注: この機能は、Windows XP ではご利用いただけません。

- **環境光センサーで LCD の明るさを調整する**: ノートブック / ラップトップに環境光センサーが搭載されている Windows 7 を使用している場合は、このオプションを選択して、周囲の明るさにあわせて LCD の明るさを調整します。LCD を暗くしてバッテリー消費を節約時に動画の明るさを補うには、[TrueTheater Lighting で明るさを補正する] を選択します。
- **バッテリー使用時に LCD の明るさを調整する**: ノートパソコンまたはラップトップの LCD ディスプレイを暗くしてバッテリー消費を節約するには、このオプションを選択します。LCD を暗くしてバッテリー消費を節約時に動画の明るさを補うには、[TrueTheater Lighting で明るさを補正する] を選択します。
- **LCD の明るさを調整しない**: LCD の明るさを調整せず通常の明るさを適用するには、このオプションを選択します。

第 5 章：

テクニカル サポート

この章では、テクニカル サポートについて説明します。ユーザーが回答を見つけるために役立つ情報が含まれています。ご購入の代理店、販売店にお問い合わせいただくこともできます。

注：このプログラムに関する情報は、弊社のユーザー フォーラムやビデオ チュートリアル (<http://directorzone.cyberlink.com/tutorial/pdr>) から入手いただけます。

テクニカル サポートにお問い合わせになる前に

CyberLink が提供する以下のサポート オプション内容をご参照ください (無料)。

- プログラムに組み込まれている「ユーザーガイド」または「オンラインヘルプ」を参照する。
- CyberLink Web サイトのサポート ページの「ナレッジベース (FAQ)」を参照する。

<http://support.jp.cyberlink.com/>

FAQ にはユーザーガイドまたはオンライン ヘルプよりも新しい情報が掲載されている場合があります。

テクニカル サポートに電子メールまたは電話で連絡する際には、次の情報をあらかじめご用意ください。

- 登録済み CD キー (CD キーは、CD ケース、箱、または CyberLink ストアで製品購入時に受け取った電子メールに明示されています)。
- 製品名、バージョン、ビルド番号 (通常、ユーザー インターフェイス上の製品名をクリックすると表示されます)。
- お使いの Windows OS のバージョン。
- システムのハードウェア デバイス (キャプチャー カード、サウンド カード、VGA カード) およびその仕様。

- ・ 表示された警告メッセージの内容 (メッセージの内容はメモするか、スクリーンショットをとっておいてください)。
- ・ トラブルの詳しい内容と、発生した状況。

Web サポート

CyberLink の Web サポートは、24 時間いつでも無料で利用できます。

注：CyberLink の Web サポートをご利用いただくには、まずメンバー登録を行う必要があります。

CyberLink では、FAQ を始めとしたさまざまな Web サポート オプションを、次の言語で提供しています。

言語	Web サポート URL
英語	http://www.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do
中国語 (繁体字)	http://tw.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do
日本語	http://support.jp.cyberlink.com/
イタリア語	http://it.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do
ドイツ語	http://de.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do
フランス語	http://fr.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do
スペイン語	http://es.cyberlink.com/prog/support/cs/index.do

注：コミュニティ フォーラムは英語およびドイツ語のみのサービスになります。

索引

数字

2 スピーカー 89

2 点間リピート 67

3D

TrueTheater 58, 61

スライドショー 38

ディスプレイ 58

ブルーレイ ディスク再生の有効
化 100

ムービーの再生 34

画像 38

形式 60

再生 58

設定 34, 38, 60

動画の再生 34

有効化 59

4 スピーカー 89

5.1 チャンネル 89

6 スピーカー 89

7 スピーカー 89

8 スピーカー 89

A

AMD 56

Android 30, 52

B

BD-J アプリケーション 99

BD-Live 99, 100

C

CD 25

CyberLink Pano Vision 46

D

DLNA 28

Dolby Digital

5.1 出力選択 89

pass-through 92

その他の設定 93

ダイナミック レンジ 93

ミキシング 91

有効化 92

Dolby Headphone 90, 93

設定 93

Dolby Pro Logic IIx 91, 96

Dolby Surround 90

Dolby Virtual Speaker 90, 94

設定 94

DTS 89

pass-through 92

ミキシング 91

有効化 92

DVD

3D 59

再生 14

再生メニュー 41

設定 97

DVD フォルダー 15

DVD+VR

再生 84

F

Facebook 61

画像のアップロード 24

画像の表示 23

動画のアップロード 20

FancyView 16, 71

ムービー コレクション 81

Flickr

画像のアップロード 24

画像の表示 23

G

GPU アクセラレーション 56

H

HDMI 58

出力 89

出力モード 92

I

iPhone 30, 52

L

LCD 明るさ 103

LFE 増幅 93

M

MoovieLive 61

MoovieLive の有効化 101

ムービーの追加 78

概要 77

言語のインポート 101

自動サインイン 101

設定 101

同期 82

有効化 101

MoovieLive と同期 82

MovieMark 62, 82

ダウンロード 64

タブ 79

ムービー コレクション 82

共有 64

再生 65

N

NVIDIA CUDA 56

P

- Pan & scan 46
- pass-through
 - Dolby Digital 92
 - DTS 92
 - ハイデフィニション 92
- PCM 出力 92
- PG textST 73
- PiP
 - 音声言語 42, 48
 - 動画 42, 48
- PowerDVD Remote 51
 - メディアの再生 52
 - 設定 31

R

- Read-It-Clearly 98

S

- S/PDIF 58, 89
 - 出力モード 91
- Say-It-Again 67, 68
- See-It-All 67
- Stabilizer 57
- SVCD
 - 再生 14

T

- TrueTheater 35
 - 3D 58
 - HD 56, 87
 - Lighting 56, 87
 - Stretch 46, 97
 - Surround 90, 91, 94, 95
 - surround 58
 - エフェクト 55
 - ディスプレイモード 57, 87
 - ビデオ エフェクト 56, 86
 - モーション 56, 87
 - 音声 58
 - 概要 55
 - 自動調整 56, 87
 - 設定 87
 - 動画 87
 - 有効化 40
- TrueTheater 3D
 - 有効化 61
- Twitter 61

U

- UI
 - 言語 83
- UPnP 28

V

- VCD
 - 再生 14

W

Windows 7 ライブラリー 17, 21, 26
Windows Aero 100
WTV 43

Y

YouTube 3
 動画のアップロード 18
 動画の再生 18

あ

明るさ
 LCD 103
アクティブ化 49
アップグレード 8
アップデート 8
アップロード
 画像 24
 動画 18, 20
アナグリフ 61
アルバム アート 40
アングル 41, 42, 47, 67
 メニュー 71
アングル切り換え 67

い

イコライザー 43
移動 45

インポート

スライドショー 22
プレイリスト 18, 27
字幕 75

え

エクスプレス メニュー 44
エクスポート
 スライドショー 22
 ブックマーク 64
 プレイリスト 18, 27

お

オート レジューム
 オプション 15
 設定 84
オーバー アンダー 60
音楽
 アルバム アート 40
 ネットワークからストリーミン
 グ 28
 再生 25
 再生コントロール 39
 再生メニュー 43
 対応する形式 25
音楽タブ 25
音声
 DVD 言語 41
 pass-through 92
 PiP 言語 42, 48
 TrueTheater 40, 58
 ネットワークからストリーミン

- グ 28
- ハイデフィニション 92
- ブルーレイ ディスクの言語 42
- メニュー 71
- 言語 47
- 再生 25
- 詳細設定 92
- 設定 88
- 対応する形式 25
- 補正 40

か

回転

- 画像 37, 38

概要 1

拡張機能 65

- アクセス 33

画像

- 3D を有効にする 38, 59
- Facebook にアップロード 24
- Facebook/Flickr 23
- Flickr にアップロード 24
- スライドショーの環境設定 37
- スライドショー作成 22
- ズーム 37, 38
- ネットワークからストリーミング 28

- 回転 37, 38

- 再生コントロール 37

- 対応する形式 21

- 表示 21

画像タブ 21

画面

- コントロール 45

- 画面アングル 41, 42, 47

- 画面に合わせてストレッチ 46
- カラープロファイル 87
- カラオケ 27, 48, 67
- 環境光センサー 103

き

キーボード

- 設定 85

- 特殊 74

機能

- 新規 2

キャプチャー

- オプション 69

- ファイル形式 85

- フレーム 67, 68

- 設定 85

- 保存先 85

共有

- MovieMark 64

- コメント 61

- ブックマーク 64

く

国コード 98

- クラシック モード 1, 13

- グリッド ビュー 71

- クローズド キャプション 42, 48

- DVD 41

け

経過時間 34

言語

DVD 音声 41

MoovieLive 101

ブルーレイ ディスクの音声 42

音声 47

設定 83

検索

ムービー 78

ムービー コレクション 81

時間 75

こ

高性能モード 98

コメント 42, 78

DVD 41

共有 61

追加 61

コレクション

マイムービー 81

コントロール

追加 65

さ

再生

3D コンテンツ 58

DVD フォルダー 15

コントロール 45

スライドショー 21

ブックマーク 65

ブルーレイ ディスク フォル
ダー 15

メニュー 50

音楽 25

音声 25

自動 86

続きから再生 41, 42, 49, 72

追加機能 73

動画 16

再生コントロール 32

PowerDVD Remote 51

スライドショー 37

ムービー 33

音楽 39

動画 33

再生情報表示 48

再生メニュー

DVD 41

ブルーレイ ディスク 41

音楽 43

動画 43

サイドバイサイド 60

し

シアター 94

時間

経過 34

検索 75

残り 34

システム要件 9

視聴

記録 79

履歴 82

自動サインイン 101

自動調整 56, 87
 シネマ モード 1
 字幕
 DVD 41
 Read-It-Clearly 98
 インポート 75
 ブルーレイ ディスク 42
 メニュー 71
 主 47
 副 41, 47
 字幕 (主) 47
 DVD 41
 ブルーレイ ディスク 42
 動画 43
 字幕 (副) 41, 47
 シャッフル 40
 主音声のみ 91
 出力
 HDMI 92
 PCM 92
 モード 90
 情報 102
 所要時間
 スライドショー 37
 新機能 2

す

ズーム
 デジタル 47
 画像 37, 38
 スタジアム 94
 ステレオ 90
 スナップショット 67, 68
 設定 85
 スピーカー

 環境 58, 89
 設定 58, 89
 スマート 2.35:1
 1 46, 97
 スマート ストレッチ 46, 97
 スライドショー
 3D の再生 38
 インポート 22
 エクスポート 22
 エフェクト 37
 環境設定 37
 再生 21
 再生コントロール 37
 作成 22
 所要時間 37

せ

静止 オフ 42, 49
 設定 30, 49, 83
 3D 60
 3D ディスプレイ 58
 Dolby Headphone 93
 Dolby Virtual Speaker 94
 DVD 97
 MoovieLive 101
 スピーカー 58, 89
 チャプタービューアー 98
 ディスクの評価 84
 ノートブック 102
 ブルーレイ ディスク 98
 ブルーレイ ディスク 詳細設定
 99
 プレーヤー 83
 プレーヤー詳細 84
 モバイル 102

ユーザー インターフェイス 83
ラップトップ 102
音声 88
音声詳細 92
縦横比 96
情報 102
動画詳細 88

た

対応する形式
 ディスク 15
 音声 25
 画像 21
 動画 16
タイトル
 メニュー 71
 検索 78
ダイナミックレンジ圧縮 92
ダウンロード
 MovieMark 64
 ブックマーク 64
 共有メディア 29
縦横比 45, 46
 TrueTheater 97
 カスタム 46
 設定 96
縦横比を維持 46

ち

チャプター
 タイトルの編集 80
 ビューアー 45, 51, 70

ブラウザー 45, 50
 メニュー 71
チャプター ビューアー 45
 設定 98

つ

続きから再生 41, 42, 49, 72
 オプション 15
 設定 84
常に手前に表示する 84

て

ディスク
 情報 80
 対応する形式 15
デジタルズーム 47
デバイス
 設定 30
デバイス タブ 29
電源 102
電源設定 102

と

動画
 3D の再生 34
 3D を有効にする 59
 Facebook にアップロード 20
 PiP 48
 TrueTheater 56

YouTube にアップロード 18
 ネットワークからストリーミング 28

再生 16
 再生コントロール 33
 再生メニュー 43
 詳細設定 88
 対応する形式 16
 補正 35
 字幕 (主) 43
 動画タブ 16
 特殊キーボード 74

な

ナビゲーション
 スライダー 33
 ナンバーパッド 70

に

認証
 BD-J 99

ね

ネットワーク
 メディアのダウンロード 29
 メディア再生 28

の

ノイズリダクション 57
 ノイズ低減 57
 ノートブック電源設定 102
 残り時間 34

は

バージョン 3
 バージョン情報 49
 パーソナルメモ 79
 バーチャルスピーカー 90
 モード 95
 ハードウェア アクセラレーション
 86
 ハイデフィニション音声 92
 パッチ 8
 バッテリー 102

ひ

ピッチ 28
 ピッチの調整 28
 評価の設定 84
 表示
 チャプター 45
 ブックマーク 62

ふ

ファイル形式の関連付け 85

ファイルの関連付け 85
ブックマーク 35
 エクスポート 64
 ダウンロード 64
 ブラウザー 45, 50
 ムービーコレクション 82
機能 62
共有 64
再生 65
追加 62
表示 62
ブラウザー 45, 50
フルスクリーン 45, 84
ブルーレイ 3D 15
 有効化 100
ブルーレイ ディスク
 3D を有効にする 59
 PiP ビデオ 48
 ポップアップ メニュー 36, 72
 マウス ソリューション 72
 リージョン コード 99
 ローカル ストレージ 100
 再生 14
 再生メニュー 41
 設定 98
ブルーレイ ディスク フォルダー 15
プレイリスト 26
 インポート 18, 27
 エクスポート 18, 27
 動画 17
プレーヤーの設定 83

TrueTheater Surround 90, 94
モード 94
設定 93

ほ

ホーム メディア 28
 ダウンロード 29
ホット キー
 音楽の再生 39
 画像の表示 37
 拡張機能 66
 追加 73
 動画 / ムービー再生 33
 特殊キーボード 74
ポップアップ メニュー 36, 72
マウス 72

ま

マイ ムービー
 ムービーの追加 78, 81
マウス
 スクロール設定 85
 ソリューション 72
 ブルーレイ ディスク 72
 設定 85

へ

ヘッドフォン 89
 Dolby 90, 93

む

ムービー
 3D の再生 34

- 検索 78
- 再生 14
- 再生コントロール 33
- 対応する形式 15
- 補正 35
- ムービー コレクション 41, 42, 81
 - FancyView 81
 - MovieMark 82
 - アクセス 36
 - ブックマーク 82
 - ムービーの追加 81
 - 検索 81
 - 視聴したムービー 82
- ムービー タブ 14
- ムービー情報 41, 42, 77
 - アクセス 36

め

- メディア 33, 39
 - タブ 2, 14
 - デバイスの再生 29
 - 再生 14
 - 再生メニュー 33, 39, 40
- メニュー
 - DVD-VR 73
 - アクセス 71
 - エクスプレス 44
 - ブルーレイ ディスク 72
 - ポップアップ 72
 - メディア再生 33, 39, 40
 - 再生 50
 - 選択 41, 42, 49
 - 続きから再生 72

も

- モード
 - TrueTheater 57
 - TrueTheater ディスプレイ 87
 - クラシック 1, 13
 - シネマ 1
 - 高性能 98
- モバイル電源設定 102

ら

- ライブラリー
 - Windows 7 17, 21, 26
- ラップトップ電源設定 102

り

- リージョン コード
 - 変更 99
- リピート 39
- リビング ルーム 94

る

- ルート メニュー 71

ろ

- ローカル ストレージ 100

